

平成26年度

事業報告書

社会福祉法人 札幌市社会福祉協議会

平成26年度 事業報告書

I 事業報告の概要

- 平成26年度は、札幌福祉関係3団体再編後の1年目として札幌市社会福祉協議会がこれまで推進してきた「地域福祉活動」に加え、「介護保険事業」や各種保健福祉事業等の「在宅福祉サービス」を実施し、さらに老人福祉センター等の「各種施設の委託管理業務」を進めることによって、市民にとってのセーフティネットの機能を果たせるよう基盤整備を進めてまいりました。また、昨年まで分かれていた本部機能を社会福祉総合センターに集積し、一体的な運営を進めるための基盤を整備しました。
- 「さっぽろ市民福祉活動計画」の基本理念にある「だれもが孤立せずにお互いに支え合うやさしい街づくりの実現」に向けて、福祉のまち推進事業においては、引き続き地域における見守り活動の充実・拡大をめざし、地区福祉のまち推進センターと協力して、福祉推進委員会の設置をはじめとする様々な働きかけを行うとともに福祉関係3団体の統合によって、更なる福祉のまちづくりを進めるための「改訂版さっぽろ市民福祉活動計画」を作成し、全市的に展開していく体制を整えました。
- 権利擁護関連事業では、地域で生活する認知症高齢者や障がい者が増加するなかで、市民後見人養成研修を開催し、市民後見人の育成を進め、家庭裁判所の選任に向けた準備を整えました。
- 施設福祉サービス事業では、養護老人ホーム1施設、市内に設置された老人福祉センター8施設（うち老人福祉センターに併設された老人デイサービスセンター6施設）、デイサービスセンター1施設、老人休養ホーム1施設を札幌市の指定管理者として管理運営し、高齢者福祉への高い専門性と公益性を発揮した様々な事業の実施やきめ細やかな福祉サービスの提供などを通して、高齢者の方々の生きがいと潤いにあふれる地域に根ざした憩いの場づくりを推進してまいりました。
- 介護保険関連事業では、訪問介護事業所、居宅介護支援事業所及び訪問看護事業所が丸となって「住み慣れた自宅で最後までその人らしく暮らし続ける支援の実現をめざして」をテーマに、24時間365日の支援と地域包括ケアシステムの構築を目指して事業を推進してまいりました。
また地域包括支援センター（8カ所）と介護予防センター（6カ所）を受託・運営し、高齢者虐待を含む権利擁護相談の実施、予防ケアプランの作成、すこやか倶楽部等の介護予防事業の実施を中心に地域包括ケアを推進してまいりました。

Ⅱ 重点事業項目

A さっぽろ市民福祉活動計画の推進

- 1 市民がお互いに支え合う活動の推進
- 2 福祉的な支援を必要とする方々を支える活動の推進
- 3 地域の社会資源との連携・協働によるネットワークの推進

B 在宅福祉サービス事業の推進

- 1 自主事業による在宅福祉サービスの提供
- 2 介護保険法による在宅福祉サービスの提供
- 3 札幌市からの委託による各種保健福祉事業の提供
- 4 在宅支援に関する研修事業の推進

C 施設福祉サービス事業の推進

- 1 養護老人ホーム札幌市長生園管理運営事業
- 2 老人福祉センター管理運営事業
- 3 介護保険法によるデイサービスセンター運営事業
- 4 休養ホーム札幌市保養センター駒岡管理運営事業
- 5 札幌市二次予防事業の実施

D 組織体制の強化

- 1 経営強化の取組み
- 2 職員育成の強化

(以下、カッコ内数字は前年度実績)

Ⅲ 計画事業項目

A さっぽろ市民福祉活動計画の推進

1 市民がお互いに支え合う活動の推進

〔1〕地区社協の活動強化

(1) 地区福祉活動座談会の開催

各区社会福祉協議会において、グループワーク等を中心に地区単位で開催
実施地区：16地区

(2) 地域福祉のネットワークづくりへの支援

○地域福祉トータルケアモデル事業の実施

① モデル指定地区 北区・新川地区（1年目）

② 支援内容

- ・地区圏域の活動支援（地区社協・地区民児協対象研修会の開催：2回）
- ・単町圏域の活動支援（ボランティア講座の開催：2回・単町における個別課題や個別事例等の協議：11回）
- ・介護予防の活動支援（サロン開催：6か所・すこやかフェスタ：1回）

○地域の福祉活動計画づくりの実施

① モデル指定地区 厚別区・厚別中央地区（2年目）

② 支援内容

- ・計画策定委員会の開催支援（4月23日）
- ・報告書・計画書の説明・配布（5月11日・地区社協総会に合わせ）

〔2〕福祉のまち推進事業の充実（区・地区福祉のまち推進センター支援事業）

（1）小地域（単位町内会レベル）での相互支援活動の推進

〔福祉推進委員会設置状況推移〕

	導入地区数・設置単町	単町単位設置地区	ブロック単位設置地区
H22	(※1) 71地区 1,172単町	63地区 992単町	9地区／39ブロック 180単町範囲
H23	72地区 1,176単町	65地区 976単町	7地区／32ブロック 200単町範囲
H24	72地区 1,175単町	66地区 927単町	6地区／25ブロック 198単町範囲
H25	76地区 1,200単町	70地区 1,002単町	6地区／27ブロック 198単町範囲
H26	集計中（各地区からの実績報告提出が5月末以降となるため）		

※1：地区全体でブロック制を活用しながら、単位町内会の一部で福祉推進委員会を設置した地区を重複計上

〔福まち活動者の推移〕

	合計	運営委員	福祉推進員	住民協力員	その他
H22	12,339人	1,877人	6,262人	3,907人	293人
H23	12,097人	1,785人	6,249人	3,808人	255人
H24	12,297人	1,803人	6,233人	4,005人	256人
H25	12,796人	1,776人	6,868人	3,718人	434人
H26	集計中（各地区からの実績報告提出が5月末以降となるため）				

〔対象者の把握・支援状況〕

〔単位：世帯〕

	合計	一人暮らし高齢者世帯	高齢夫婦のみ世帯	障がい者世帯	子育て世帯	その他
H22	42,994	30,230	9,171	388	2,826	379
H23	45,905	33,130	9,735	419	2,381	240
H24	56,283	38,413	11,573	460	5,410	247
H25	56,553	38,350	13,229	430	4,404	140
H26	集計中（各地区からの実績報告提出が5月末以降となるため）					

〔対象世帯への日常支援状況〕

〔単位：世帯〕

	合計	訪問	除雪支援	外出支援	家事・育児支援	介護支援	その他
H22	38,426	28,076	1,696	396	2,082	133	(※1)6,043
H23	47,714	29,601	1,676	442	1,826	284	(※2)13,885
H24	59,045	33,369	1,954	414	2,303	280	(※2)20,725
H25	62,749	30,093	2,306	536	1,399	75	(※2)28,340
H26	集計中（各地区からの実績報告提出が5月末以降となるため）						

※1：平成22年度までは、訪問以外の見守り・安否確認項目がなかったため、その他に計上。

※2：平成23年度の様式変更に伴って、見守り（電話及び外からの見守り）の項目が追加されたことにより、その他の実数が大幅に増加した。

（2）地域福祉市民活動フォーラムの開催

〔開催日〕 平成26年9月17日

〔場所〕 札幌市民ホール

〔内容〕 福まち活動写真及び広報紙コンクール表彰式

基調講演

「地域における支え合い活動が求められる背景と
その実践について」

(講 師) 関西学院大学 人間福祉学部 人間福祉研究科
教授 牧里 每治 氏

事例発表・シンポジウム

「地域の支え合い活動の進め方と福まち及び福祉推進委員会の
役割について」

(発表者) 清田区 北野地区福祉のまち推進センター
運営委員長 一瀬 ヒロ 氏
南区 藤野地区 野々沢町内会
会長 吉田 健治 氏

〔参加者〕 700名

(3) 地区福まちへの幅広い市民の参加促進

○福まちウイーク事業の実施(平成26年9月14日～22日)

① 福まち活動パネル展の開催

〔内 容〕 福まちに対する市民理解と活動への参加促進を図ることを目的に、福まち活動の様子を記録した写真パネル等の展示を「福まちウイーク」期間中に開催。

〔展示期間〕 平成26年9月14日～22日

〔展示場所〕 オーロラスクエア

② 福まち活動写真及び広報紙コンクールの開催

〔内 容〕 福まち活動の様子を記録した「活動写真」と地区での取り組みを紹介した「広報紙」のコンクール及び作品の展示を通じて、福まち実践者の取り組みを賞賛し、多くの市民に地区福まち活動に対する理解と参加促進を図ることを目的に開催。

〔展示期間〕 平成26年9月14日～22日

〔展示場所〕 オーロラスクエア

〔応募数〕 (写 真) 45地区87作品、14単位町内会24作品
(広報紙) 38地区38作品

〔受賞団体〕 (写真部門/地区福まちの部)

- | | |
|-------------------|---------------|
| ・最優秀賞 八軒地区福まち | 優秀賞 手稲鉄北地区福まち |
| ・審査委員特別賞 2地区 | 佳 作 6地区 |
| (写真部門/単町・自治会の部) | |
| ・最優秀賞 わかば町内会(厚別区) | 優秀賞 富丘東一町内会 |
| ・審査委員特別賞 2町内会 | 佳 作 2町内会 |
| (広報紙部門) | |
| ・最優秀賞 東札幌地区福まち | 優秀賞 藤野地区福まち |
| ・審査委員特別賞 2地区 | 佳 作 5地区 |

〔表彰式〕 平成26年9月17日 札幌市民ホール

③ 小学生の描く「人にやさしい福祉のまちづくりポスター」作品展の開催

〔内 容〕 未来を担う子どもたちに、すべての人々が住み慣れた地域で安して生活できるような、「人にやさしい福祉のまちづくり」のイメージを伝えるポスター展への参加を通じて、福祉に対する意識の啓発を図るとともに、出展作品の展示等により、多く

の市民に地域福祉活動の理解と参加促進を図ることを目的に開催。

- 〔応募数〕 31校325作品
 〔展示期間〕 平成26年9月14日～22日
 〔展示場所〕 オーロラスクエア
 〔受賞者〕

札幌市長賞 札幌市立あいの里小学校6年 三宅 由夏さん
 札幌市社会福祉協議会会長賞 札幌市立豊滝小学校6年 土田 貴一さん
 札幌市立太平南小学校4年渡邊 充咲さん
 審査委員特別賞 受賞者5名, 佳作 受賞者 23名

〔表彰式〕 平成26年9月21日 札幌すみれホテル

④ 新たな福祉人材の発掘支援

新たな福祉人材の発掘支援 (以下項目(4)(5)(8)(9)のとおり)

(4) 福まち活動者向け訪問マニュアルの作成

〔印刷物名〕 見守り訪問のすすめ (声かけ・訪問編)
 〔発行部数〕 15,000部

(5) 社協ホームページにおける地区福まち情報の充実

各区社協にてホームページ「福祉のまち推進センターニュース」を随時更新

(6) 地区福祉のまち推進センターモデル活性化支援事業の推進

〔内容〕 福まち事業に関する市社協及び各区社協の取り組み状況や先駆的な活動事例について意見交換・情報交換することを目的に開催。

〔開催日・場所〕 平成26年6月4日 社会福祉総合センター

〔協議事項〕 ・さっぽろ市民福祉活動計画事業の成果と課題について
 ・平成25年度モデル活性化支援事業の報告・検討について
 ・地域見守りネットワーク推進会議の設置・開催について
 ・福まちパワーアップ事業の取組状況について

〔モデル指定地区〕

区	指定地区	重点支援内容
中央	宮の森大倉山	地域での「見守り・安否確認」活動を町内会単位に啓発し、活動に向けた支援の実施。
北	新川	地域福祉トータルケアモデル事業の実施に向けた支援。「普及啓発」「生活支援活動」「介護予防」を3つの柱を同時に進行、地域・単町関係者の意識を高めてきた。
東	栄東	単町会長の福まち活動理解促進。見守り活動の体制強化(地区役員会議の開催)、関係機関による情報交換、福祉マップの更新(研修会の実施、単町への働きかけ)。
白石	白石東	見守り活動の重要性や連携の必要性を内容とした地区全体での研修の企画支援等。
	北東白石	地域のボランティア活動者を増やすことを目的に「地域ささえ合い講座」を地区内の会館3ヶ所で実施。講座をとおして関係機関との協力体制も強化。

厚別	厚別中央	福祉推進委員会の設置が遅れている単位町内会への支援、町内会ごとの見守り活動支援。
豊平	中の島	見守り活動記録を活用して、困難ケースの早期把握と予防に努める。各単町会長に対して、見守り。訪問活動の重要性、地域課題を理解してもらう。
清田	北野	各単町の福祉推進委員会の状況把握（単町へ出向いて懇談会形式で実施。地区福まち、民児協、関係機関にも参加してもらい、一つのチームとして係る）。
南	簾舞	関係機関との連携支援、座談会の実施による見守り活動の情報共有、広報紙作成に係る支援。
西	西野	災害時要援護者支援事業の展開（モデル単町によるアンケート実施、マップ作成）。
手稲	星置	地域の課題を話し合うワークショップ開催。課題に対応した実践活動のための支援（マップ、除雪V）。

（７）福まちパワーアップ事業の支援（新規事業）

〔内 容〕 行政（区役所・保健師）が中心となりつつ、様々な機関・団体等が協力し、福まちセンターにおける支え合い活動の活性化や、個別支援活動・医療機関との連携強化を図っていくためのモデル事業に対し、地域での総合的な支援活動の展開を図るため、区社協も本事業の推進に協力。

〔モデル地区〕 中央区（宮の森大倉山）、北区（新琴似西）、東区（栄西）、白石区（白石東）、厚別区（厚別西）、豊平区（福住）、清田区（平岡）、南区（藤野）、西区（西町）、手稲区（富丘西宮の沢）

（８）見守り・訪問活動強化事業の実施

〔内 容〕 毎月３日を「見守り・訪問の日」として制定し、市民が「見守り・訪問活動」を意識し、日常生活に取り入れてもらえるよう、地区福まちと一体となったPR活動を行うと共に、企業等への働きかけを行う。

〔作成物〕 啓発のぼり２２０枚 ポスター１，０００枚

〔参加企業〕 札幌市内のコープさっぽろ、ホームック、イオン、日本旅行（継続）、薬局・調剤薬局、セブンイレブン、北海道新聞販売店、児童会館等活動協会施設、ヤクルト販売店（新規）

（９）地域見守りサポーター養成研修の実施

〔内 容〕 日常生活の中で「なんとなく気にかける」程度の見守りにより、高齢者等の安否を確認し異変に気づいた際には、行政や地域の民生委員等に連絡する「地域見守りサポーター」を養成することを目的に実施。またサポーターの養成を通じて、福まち活動の理解促進と今後の担い手の発掘を視野に行った。

		単町	連町	福祉推進委員会	福祉のまち推進センター	地区社会福祉協議会	老人クラブ	民生委員児童委員協議会	ボランティア団体	企業	学校	その他	合計
22年度	人	167	73	23	232	192	43	28	54	28	196	376	1,412人
	団体	7	2	1	6	2	2	1	2	1	1	7	32団体
23年度	人	225	152	8	207	0	112	50	25	0	200	354	1,333人
	団体	10	3	1	5	0	4	2	1	0	1	11	38団体
24年度	人	364	0	62	191	27	284	166	52	29	261	270	1,706人
	団体	16	0	4	5	1	8	5	2	2	2	11	56団体
25年度	人	164	38	38	140	14	183	0	0	53	176	276	1,082人
	団体	6	1	2	2	1	5	0	0	2	1	11	31団体
26年度	人	99	70	0	132	33	35	16	0	21	195	319	920人
	団体	6	1	0	3	1	2	1	0	1	1	7	23団体
合計	人	1,019	333	131	902	266	657	260	131	131	1,028	1,595	6,453人
	団体	45	7	8	21	5	21	9	5	6	6	47	180団体

(10) 地区福祉のまち推進センター拠点活性化事業

〔内 容〕 地区福まち活動拠点に相談窓口や目安箱の設置などを通し、地域住民に福まち活動について知ってもらうことにより、拠点の有効活用を目指した事業である。24年度に実施した拠点の実態調査をもとに拠点のあり方について検討・協議を実施。

(11) 地区福祉のまち推進センターとの協働による在宅要支援者への支援活動

(12) 新たな相互支援の方法に関する支援と調査・研究

(13) マスコミなどを活用した積極的な周知活動の展開

テレビ・ラジオ・新聞等を有効活用し、福まち活動の紹介等を随時実施。

(14) 地域包括支援センター及び介護予防センターとの連携強化

○地域福祉事業推進に係るプロジェクト会議の設置・開催（9回開催）

〔内 容〕 本プロジェクト会議にて、5年後に向けた「地区福まちの未来像と区・市社協の役割」について提案書を作成し、地区福まちコーディネーター機能の強化や、社協職員のコミュニティーソーシャルワーク機能の強化等について、全職員の合意形成（意見交換会）を図り、27年度から具体的に実践を進めていくための体制整備を進めた。

〔PJ 構成員〕 市社協地域福祉課、北区・東区・白石区・西区社協職員（7名）

○地域見守りネットワーク推進会議の設置・開催

〔内 容〕 地域（地区福まち）と各種民間事業者等が連携した重層的な見守りの仕組みづくりに向けて、新たに地域見守りネットワーク推進会議を設置・開催し、体制整備の取り組みを進めた。

〔開催回数〕 2回開催（8月28日・12月15日）

〔会議構成員〕 福まち、民生委員・児童委員、警察、消防、行政（福まち担当部局等）、集合住宅関連団体、地域包括支援センター、障がい者相談支援事業所、各種配達事業者（コープさっぽろ・エンパイアー・ヤクルト・道新）、学識経験者

(15) 自主財源強化に向けた支援

〔3〕ふれあい・いきいきサロンの普及と充実

(1) ふれあい・いきいきサロン登録・助成

分類	種類	26年度実績	25年度実績
登録総数		630 サロン (活動休止中 164 サロン除く)	579 サロン (活動休止中 141 サロン除く)
種別登録数	高齢者	457 サロン	412 サロン
	子育て	126 サロン	124 サロン
	障がい者	4 サロン	4 サロン
	複合型	43 サロン	39 サロン
新規登録数		74 サロン	68 サロン

(2) サロンセミナーの開催

(3) サロン活動情報の収集・情報提供

サロン情報誌の発行等に合わせ、新規開設サロンの情報、サロンに役立つ活動プログラム等の情報を収集し、本会ホームページ・情報誌等で随時紹介。

(4) サロン情報誌の発行（縁結び事業）

サロン情報誌の発行（奇数月年6回）

(5) サロン支援活動ボランティアコーディネート（縁結び事業）

サロン運営支援ボランティア・芸能ボランティアの紹介とコーディネート。

(6) サロン開催場所の開拓、世代間交流の促進（縁結び事業）

サロン情報誌などで開催場所の工夫や世代間交流の活動事例等を紹介。

〔4〕福祉除雪サービス事業の充実

実施状況	26年度実績	25年度実績
申込数	5,486 世帯	5,143 世帯
該当世帯数	5,208 世帯	4,880 世帯
非該当世帯数	86 世帯	63 世帯
辞退世帯	192 世帯	200 世帯

地域協力員	年度	人数	対応世帯数	割合
地域組織 (近隣協力員)	26	1,914 名	3,266 世帯	61.4%
	25	1,686 名	2,707 世帯	54.7%
NPO	26	10 団体	166 世帯	3.1%
	25	8 団体	236 世帯	4.8%
福祉施設	26	9 団体	39 世帯	0.7%
	25	9 団体	48 世帯	1.0%
学校	26	6 校	73 世帯	1.4%
	25	9 校	29 世帯	0.6%
地域企業	26	78 社	1,288 世帯	24.2%
	25	69 社	1,414 世帯	28.6%
防災協加盟業者	26	60 社	486 世帯	9.1%
	25	65 社	518 世帯	10.5%

※途中で協力員が変更となった場合や異なる区分の協力員（地域組織と学校等）が合同で同じ世帯を実施した場合は、対応世帯数は重複計上される。

(1) 情報媒体の活用による地域協力員の発掘

市・区社協が一体となり、ラジオ・新聞・広報さっぽろ・本会広報誌やホームページ・PRチラシの町内回覧など、様々な広報媒体を活用し、幅広い世代が身近な地域福祉活動に参加できる取り組みとして、地域協力員の募集を積極的に実施した。

(2) 事業内容を検証するためのアンケート調査の実施

※26年度については27年度に実施する。

(3) 福祉除雪事業の見直しに向けた検討（新規事業）

○福祉除雪事業見直しプロジェクト会議の継続開催

〔開催日・主なテーマ〕

第3回目 平成26年4月10日

- ・福祉除雪制度見直しの方向性について
- ・地域協力員の負担軽減に関する取組に向けて
- ・間口の長い世帯並びに長屋世帯の取り扱いについて

第4回目 平成26年6月10日

- ・福祉除雪見直しプロジェクト会議において検討した各種取り組みを具体化するための方策について、外部アドバイザーを交えて協議。
- ・アドバイザー：札幌国際大学スポーツ人間学部

スポーツビジネス学科 教授 飯田 俊郎 氏

札幌市保健福祉局総務課

地域福祉推進係長 只野 徹 氏

札幌市への提案 平成26年7月10日

- ・福祉除雪事業見直しに向けて（最終報告）を札幌市へ提出

(4) 地域協力員確保に向けた取組の実施

○除雪ボランティア説明会の開催

〔内 容〕 福祉除雪地域協力員を中心とした除雪ボランティア活動への一層の市民理解と協力を求めるために開催。

〔開催日・場所〕 平成26年9月2日 社会福祉総合センター

〔内 容〕 福祉除雪を中心に様々な除雪ボランティア活動の説明と活動発表

〔参加者〕 34名

○企業・団体等による単発の除雪ボランティア活動の調整

〔内 容〕 除雪ボランティア活動への一層の市民理解と協力を図りつつ、福祉除雪の利用世帯の間口等に堆積した雪を取り除くスポット除雪への協力を促進し、地域協力員が活動しやすい環境を整備する取り組みとして実施。

〔協 力〕 10企業・団体

〔実施世帯〕 68世帯

(5) 福祉除雪システムの構築（新規事業）

〔内 容〕 福祉除雪については、事業の円滑な推進を目的として、利用申込者及び地域協力員の情報等を専用のシステムを開発・導入し一元管理してきた。

しかしながら、現在使用しているシステムが導入から10年余り経過し、新たなOSに対応できない状態にあることから、新システムへの移行を進め、事業の管理運営をより安全かつ適

正に行うための環境整備を図った。

〔5〕 ボランティア活動の振興・普及の強化

(1) ボランティア活動センター

① ボランティア活動情報の提供

- ・ボランティア活動センターのボランティア募集掲示板の活用
- ・札幌ニュースの発行〔発行回数〕年12回
※希望者には、Eメール送付。ホームページにも掲載。
- ・研修予定一覧の発行〔発行部数〕6,500部(5,000部)
- ・研修月刊チラシの発行〔発行部数〕6,000部(5,000部)
〔発行回数〕年12回
- ・市社協ホームページでのボランティア募集・団体活動紹介
- ・市社協広報誌「やさしい街」及び区社協広報誌への掲載
- ・区社協ボランティア通信への掲載
- ・札幌市ボランティア連絡協議会・区ボランティア連絡会広報誌への掲載
- ・広報さっぽろへの掲載
- ・北海道新聞善意ボランティアの欄・各種新聞社・ミニコミ紙等への掲載

② ボランティア活動室・印刷室・活動機材の貸出

- ・ボランティア活動センターの運営

ア ボランティア活動室（印刷室含む）

	26年度実績	25年度実績
開室日数	341日	359日
利用者数	857団体	998団体
	延べ3,808名	延べ4,884人

イ 研修室利用事業

	26年度実績	25年度実績
利用者数	403団体	1,035団体
	延べ6,390名	延べ21,916名
利用率	21.2%	43.1%

ウ ボランティア活動機材(車椅子、アイマスク等)

	26年度実績	25年度実績
貸出件数	74件/1,284台	94件/1,732台

③ ボランティア相談・登録・紹介の実施

ア ボランティア登録数

	26年度実績	25年度実績
ボランティア登録数	675団体/40,728名	654団体/40,393名
	(個人) 1,355名	(個人) 1,247名

イ ボランティア相談件数

	26年度実績	25年度実績
要請相談	114件	111件
希望相談	155件	200件
派遣件数	91件	91件
その他	1,242件	1,732件

ウ 各区の需給調整の状況

[単位：件]

	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲	合計
希望 相談	45	46	41	32	62	40	58	38	74	38	474
	42	44	56	96	39	35	65	15	41	53	486
要請 相談	31	23	28	69	46	28	48	35	54	56	418
	37	41	48	221	43	30	39	21	47	73	600
派遣 件数	20	16	9	44	31	19	31	23	25	35	253
	25	24	18	61	26	14	27	17	31	40	283

※上段26年度／下段25年度実績

④ ボランティア保険の加入取扱いと促進

	26年度実績	25年度実績
ボランティア活動保険	35,247名	35,263名
ボランティア行事用保険	81,855名	77,452名
送迎サービス補償制度	21団体	20団体
福祉事業者総合補償保険	41団体	38団体

⑤ 各種ボランティア研修事業の実施

集合研修	26年度実績	25年度実績
研修数	335研修	293研修
受講数	11,533名	10,643名
受講率	89.1%	109.5%

[内 訳]

a) 市民啓発研修

1日福祉セミナー、社会福祉施設見学セミナー、DV研修、カウンセリング研修、成年後見セミナー 等

b) ボランティア研修

傾聴、読み聞かせ、朗読、芸能、災害、車いす、手話、視覚障がい、知的障がい、精神障がい、発達障がい 等

c) 地域福祉研修

見守りサポーター養成、上手な見守り・訪問、孤立死、サロン活動メニュー体験、先進事例、民生委員研修 等

d) 介護研修

介護技術、認知症サポーター養成、認知症コミュニケーション等

e) 介護サポーター研修

f) 市民参加型在宅福祉研修

地域支え合い有償ボランティア協力会員、子育てサポートセンター提供会員

g) 日常生活自立支援事業生活支援員研修

新規生活支援員、生活支援員登録者、生活支援員現任者

h) 福祉従事者研修

救急法、施設レクリエーション見直し、認知症ケアを振り返る等

出張研修	26年度実績	25年度実績
実施数	179回	160回
参加者	7,609名	7,120名

i) 在宅ボランティア養成研修会
《ボランティア入門研修会》

	26年度実績	25年度実績
受講者数	218名	212名

○区別実施状況

区名	開催時期	受講者数
中央区	2月28日	60名
北区	7月14日・15日・16日	18名
東区	9月10日・12日・17日・19日	17名
白石区	2月24日・25日	12名
厚別区	7月30日・31日・8月4日・5日	11名
豊平区	11月5日	14名
清田区	12月5日、2月23日	30名
南区	12月10日	23名
西区	8月6日・8日	12名
手稲区	9月26日・29日・30日	21名

《地域ボランティアレベルアップ研修会》

	26年度実績	25年度実績
受講者数	42名	21名

○実施状況

回数	開催時期	受講者数
第1回	3月2日・4日・6日・9日	20名
第2回	3月16日・18日・20日	22名

j) 札幌ときめき大学

〔日時〕 平成26年4月11日～10月10日（取得50単位）

〔応募者〕 5名 〔合格者〕 5名 〔修了者〕 5名

k) 絵本の読み聞かせ入門講座（さっぽろ絵本読み聞かせフェスタ協賛）

〔日時〕 平成26年11月25日

〔場所〕 ボランティア活動センター

〔内容〕 講義・実技

講師 NPO法人子育て応援かざぐるま 岩宮 佳奈子氏

〔受講者〕 9名

l) 運輸事業者向けバリアフリー教室（北海道運輸局主催事業への協力）

〔日時〕 平成26年11月27日

〔場所〕 ボランティア活動センター

〔内容〕 各種障がいに関する講義・実技

講師 （公財）交通エコロジー・モビリティ財団

（公社）札幌聴覚障害者協会 手話講師

NPO法人 手と手 浅野目 祥子 氏 他

〔受講者〕 24名

m) ボランティア研修会等参加事業

- ・ ボランティア愛ランド北海道2014 in さっぽろ（札幌市、11月2日）
- ・ 第23回全国ボランティアフェスティバルぎふ（岐阜市、9月27～28日）
- ・ 石狩地区ボラネットスキルアップ研修会（恵庭市、11月18日）

⑥ ボランティア体験事業の実施

〔内 容〕 ボランティア活動の体験ができるメニューを集約・提示

区名	年度	体験施設・団体数	体験メニュー数
中央区	26	47ヶ所	106数
	25	55ヶ所	151数
北区	26	46ヶ所	95数
	25	49ヶ所	101数
東区	26	53ヶ所	120数
	25	58ヶ所	136数
白石区	26	39ヶ所	97数
	25	33ヶ所	87数
厚別区	26	50ヶ所	121数
	25	46ヶ所	116数
豊平区	26	80ヶ所	198数
	25	73ヶ所	170数
清田区	26	50ヶ所	124数
	25	36ヶ所	115数
南区	26	44ヶ所	99数
	25	38ヶ所	89数
西区	26	25ヶ所	47数
	25	31ヶ所	68数
手稲区	26	56ヶ所	130数
	25	59ヶ所	139数
計	26	490ヶ所	1,137数
	25	478ヶ所	1,172数

⑦ ボランティア活動手引書「ホップ・ステップ・ボランティア」の作成

〔作成数〕 8,500部

⑧ ボランティア活動センター運営委員会の開催

a) 第1回

〔日 時〕 平成26年6月17日

〔場 所〕 ボランティア活動センター

〔議 題〕 委員長・副委員長の選任

平成25年度ボランティアセンター事業報告

平成25年度ボランティア研修センター事業報告

平成26年度ボランティア活動センター事業計画

b) 第2回

〔日 時〕 平成27年3月3日

〔場 所〕 ボランティア活動センター

- 〔議 題〕 移転に伴うボランティア活動室等利用条件の変更
平成27年度ボランティア活動センター研修予定（案）
平成27年度ボランティア活動センター事業計画（案）

⑨ 福祉教育の推進

○社会福祉協力校の指定促進と支援

〔単位：校〕

	年度	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲	合計
継続校	26	1	2	0	0	1	0	0	1	0	1	6
	25	1	5	0	2	1	0	0	0	1	0	10
新規校	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	25	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	3
再指定校	26	1	3	2	0	0	0	0	0	0	1	7
	25	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	26	2	5	2	0	1	0	0	1	0	2	13
	25	3	5	0	2	1	0	0	1	1	1	14

⑩ 福祉教育副読本改訂版の作成・配布

a) 障がいのある人に私たちは何ができるだろうか？（小学校5・6年生向け）

〔内 容〕 各種障がい者に対する関わり合い方について
車いす体験、アイマスク体験、手話体験、点字などの紹介
ボランティア活動について

〔発行数〕 15,000部（16,000部）

〔配付先〕 市立小学校5年生全児童（6年生は昨年度配布済み）

b) 障がいのある人に私たちは何ができるだろうか？（教員向け）

〔内 容〕 小学校5・6年生向け副読本の解説
総合的な学習で使える福祉体験プログラム
出張講座・市内高齢者福祉施設の紹介

〔発行数〕 2,050部

〔配付先〕 市立小学校5・6年生全学級 他

⑪ 全道福祉の学習推進セミナーの開催（道社協との共催）

〔日 時〕 平成27年1月9日

〔場 所〕 北海道立道民活動センター10階 1060会議室

〔内 容〕 実践発表 紋別市社会福祉協議会「ボラセン Jr」
札幌市幌北地区福祉のまち推進センター
岩見沢市立栗沢小学校

分科会 「地域における福祉教育の推進」

全体会

〔参加者〕 69名（128名）

⑫ 札幌市ボランティア連絡協議会に対する支援

ア 研修事業

a) ボランティア講演会

〔日 時〕 平成26年4月25日

〔場 所〕 札幌市社会福祉総合センター 大研修室

〔内 容〕 演題「介護保険制度と在宅介護支援の実態」

講師 札幌市社協 介護事業課 訪問介護係長 荻野貴輝

札幌市社協 介護事業課 支援事業係長 高階和行

札幌市社協 地域包括課 地域包括係 齋藤久子

〔参加者〕 97名（128名）

b) リーダー研修会

〔日 時〕 平成26年11月11日

〔場 所〕 ボランティア活動センター

〔内 容〕 活動紹介 北区ボランティア連絡会
厚別区ボランティア連絡会
講義・グループワーク

「ボランティア連絡会のこれまでとこれからの20年を考える」

講師 札幌市社協 ボランティア振興課長 大石 純

〔参加者〕 34名（25名）

c) ボランティアセミナー

〔日 時〕 平成26年12月9日

〔場 所〕 札幌すみれホテル3階 ヴィオレ

〔内 容〕 創立20周年記念セミナー

「CAP ～子どもへの暴力防止プログラム～」

講師 北海道CAPをすすめる会 代表 木村 里美 氏

創立20周年記念祝賀会

披露 北星学園大学ハンドベル・クワイア

〔参加者〕 75名（55名）

イ 協力事業

a) ボランティア愛ランド北海道 2014 in さっぽろ

〔日 時〕 平成26年11月2日

〔場 所〕 ニトリ文化ホール

〔内 容〕 第38回道新ボランティア奨励賞贈呈式・講演・シンポジウム等

〔参加者〕 74名（34名）

b) 第23回全国ボランティアフェスティバルぎふ

〔日 時〕 平成26年9月27～28日

〔場 所〕 長良川国際会場（岐阜市）ほか

〔内 容〕 ボランティア功労賞厚生労働大臣表彰・記念講演、
トークセッション・交流会・分科会・引継式 等

〔参加者〕 6名（12名）

c) 石狩地区ボラネットスキルアップ研修会

〔日 時〕 平成26年11月18日

〔場 所〕 恵庭市黄金ふれあいセンター

〔内 容〕 先進事例報告・センター見学・情報交換 等

〔参加者〕 11名（5名）

ウ 交流事業

・学生ボランティアとの交流会

〔内 容〕 区ボラ連ごとに高校、専門学校、大学を訪問

エ 会務の運営

a) 総 会

〔日 時〕 平成26年4月25日

〔場 所〕 札幌市社会福祉総合センター3階 第3会議室

〔内 容〕 平成25年度事業報告及び決算報告、監査報告
平成26年度事業計画（案）及び予算（案） 他

〔参加者〕 32名（45名）

b) 役員会

7回：6月、7月、9月、10月、11月、1月、3月

オ その他

a) 収集ボランティアの普及と取り組み

b) 広報誌「ふれあいネットワークさっぽろ」40号・41号の発行（6,000部）

⑬ 札幌市在宅福祉活動団体連絡会に対する支援

ア 研修事業

a) 特別講演会

〔日 時〕 平成26年6月5日

〔場 所〕 ボランティア活動センター

〔内 容〕 講演「新地域支援事業の在り方を考える」

講師 公益財団法人 さわやか財団

さわやかインストラクター 澤出 桃姫子 氏

〔参加者〕 18名（29名）

b) 地域活動フォーラム「わっしょい！ボランティアまつり」

〔日 時〕 平成26年10月18日

〔場 所〕 ボランティア活動センター

〔内 容〕 講演会・作業所製品などの販売・似顔絵・占いなど

〔参加者〕 120名（80名）

〔実行委員会〕 4回： 7月、8月、9月、10月

イ 交流事業

a) 第1回

〔日 時〕 平成26年11月20日

〔場 所〕 ボランティア活動センター

〔参加者〕 9名（8名）

〔内 容〕 講演「成年後見人の活動について～相談があった時の対応～」

講師 公益社団法人 成年後見センター・リーガルサポート

札幌支部 渉外担当委員 鈴木 郁子氏

b) 第2回

〔日 時〕 平成27年3月19日

〔場 所〕 ボランティア活動センター

〔参加者〕 18名（8名）

〔内 容〕 講演「介護保険制度の改正について」

講師 札幌市社会福祉協議会 介護事業課長 横井 勝博

ウ 会報誌「手を繋ごう！なかまたち」の発行

第15号～第17号（各710部）

エ 会務の運営

a) 総 会

〔日 時〕 平成26年6月5日

〔場 所〕 ボランティア活動センター

〔内 容〕 平成25年度事業報告及び決算報告、監査報告
平成26年度事業計画（案）及び予算（案）

〔参加者〕 13名（19名）

b) 役員会

7回： 4月、7月、8月、9月、10月、1月、3月

⑭ 災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル

ア 災害関係機関連絡調整会議

〔日 時〕 平成27年3月25日

〔場 所〕 札幌市社会福祉総合センター4階 ボランティア研修室B

〔内 容〕 ・東日本大震災以降の災害に対する活動について
・札幌市災害ボランティアセンターを設置・運営するにあたり連携・協力すべき関係機関について
・情報・意見交換

イ 災害ボランティアセンター設置に係る災害時優先電話の配備

⑮ 災害支援ボランティアの養成・登録と継続研修の実施

ア 災害支援ボランティアフォローアップ研修会の開催

〔日 時〕 平成26年12月8日

〔場 所〕 リンケージプラザ 第1研修室

〔内 容〕 演題 「災害時における要援護者支援と

ボランティアの役割」

講師 一般財団法人ダイバーシティ研究所

代表理事 田村 太郎氏

〔参加者〕 50名（51名）

イ 災害出張研修会の実施

	26年度実績	25年度実績
回数	16回	25回
受講者	543名	759名

⑯ 札幌市障がい者講師等派遣事業の実施

ア 障がい者講師養成講座の開催

〔日 時〕 平成26年7月14日～8月25日（全10回）

〔場 所〕 リンケージプラザ

〔内 容〕 各種障がい者の理解について
学校が障がい者講師に求めていること
模擬講演に向けたテーマ設定について 他

〔受講者〕 各種障がい者手帳を有する方13名（14名）

イ P R イベントの開催

〔日 時〕 平成26年11月7日

〔場 所〕 札幌市社会福祉総合センター4階 大研修室

〔内 容〕 障がい者講師養成講座修了生による公開座談会

出演者 障がい者講師養成講座修了生5名

特別講演

演題 「障がい者との出会いから学んだこと

～こんな夜更けにバナナかよの世界から～」

講師 フリーライター・ノンフィクション作家 渡辺一史氏

〔参加者〕 92名（58名）

ウ 障がい者講師の派遣

〔派遣先〕 市内小・中・高等学校・企業・福まちなど

	26年度実績	25年度実績
回数	67回	67回
聴講者	4,125名	3,045名

⑰ 介護サポートポイント事業の実施

ア 受入施設数・サポーター登録者数

〔単位：事業所・名〕

	年度	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲	合計
受入施設数	26	12	23	23	19	9	8	19	5	11	13	142
	25	10	21	23	15	9	8	17	5	10	11	129
サポーター登録数	26	143	134	169	76	64	88	74	145	107	58	1,058
	25	99	103	129	55	55	72	54	113	83	38	801

※ 受入施設にはデイサービス、デイケア含む

イ 介護サポーター研修の開催（集合・出張形式）

〔日時〕 平成26年4月9日をはじめ計20回

〔参加数〕 326名（853名）

ウ 介護サポーターフォローアップ講座の開催

a) 第1回

〔日時〕 平成26年6月19日

〔場所〕 札幌市社会福祉総合センター4階 大研修室

〔参加者〕 85名

〔内容〕 演題「札幌市認知症サポーター養成講座」

講師 札幌しらかば台南病院 診療技術部地域医療連携室
科長 吉岡 秀典 氏

b) 第2回

〔日時〕 平成26年11月12日

〔場所〕 札幌市社会福祉総合センター4階 大研修室

〔参加者〕 82名

〔内容〕 演題「札幌市認知症サポーター養成講座」

講師 グループホームトトロの森総合施設長 住友幸子氏

エ 介護サポーターフォローアップ講座の開催（体験型）

〔日時〕 平成26年10月21日

〔場所〕 社会福祉法人溪仁会 介護老人福祉施設月寒あさがおの郷

〔内容〕 活動に至らない介護サポーターを対象に、体験を通じて活動に結びつける体験型のフォローアップ。

〔参加者〕 6名

(2) 移送サービス事業

○実績件数

〔単位：件〕

	年度	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲	合計
件数	26	72	179	50	53	82	42	97	35	103	106	819
	25	110	166	64	74	102	50	91	94	138	161	1,050

○運転ボランティア登録人数

〔単位：名〕

	年度	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲	合計
件数	26	16	15	6	10	13	19	20	37	8	22	166
	25	15	17	10	12	9	21	15	37	5	20	161

○自動車事故の対応と法律知識に関する研修会（運転ボランティア対象）

〔場 所〕 ボランティア活動センター

〔受講者〕 28名

(3) 地域支え合い有償ボランティア事業**① 有償ボランティア（協力会員）による在宅福祉サービス（家事援助、生活援助、外出援助）の実施****ア サービスの提供**

〔派遣日〕 月曜日から土曜日まで（ただし、休日及び12/29～1/3を除く。）

〔派遣時間〕 午前8時から午後8時まで

〔年会費〕 利用者及び協力員ともに1,200円（初年度は登録月により減額）

実績数	26年度実績	25年度実績
利用世帯数	7,357世帯	8,457世帯
回数	26,890回	32,207回
時間数	40,474時間	44,732時間

イ 家事援助サービス（えぷろんサービス）

〔利用対象〕 高齢者、障がい児・者、病弱な人及び産前・産後各8週間以内の人、その他本会が必要と認めた人

〔サービス内容〕 調理、掃除、洗濯、買物などの家事、外出時の同行など

〔利用料〕 1時間800円（うち事務費100円）、交通費実費

実績数	26年度実績	25年度実績
利用世帯数	5,022世帯	5,386世帯
回数	19,141回	20,760回
時間数	33,028時間	35,825時間

ウ 生活援助サービス（かいてきサービス）

〔利用対象〕 高齢者、障がい児・者、病弱な人及び産前・産後各8週間以内の人、その他本会が必要と認めた人

〔サービス内容〕 ごみ出し、除雪、簡単な大工仕事、庭の手入れ、室内の様替え、話し相手、趣味娯楽の相手、その他

〔利用料〕

サービス	単 位	金額	うち事務費	交通費
基準サービス	1時間	800円	100円	実費
ごみ出し	1回	250円	〃	〃
除 雪	30分	600円	〃	〃
認知症高齢者の見守り等	1時間	500円	〃	〃
実績数	26年度実績		25年度実績	
利用世帯数	2,043世帯		2,830世帯	
回数	7,104回		10,979回	
時間数	5,885時間		7,741時間	

エ 外出援助サービス（お出かけ同行サービス）

〔利用対象〕 一定の要介護状態にある高齢者または身体障がい者

〔サービス内容〕 軽介護を伴う外出（通院・買い物・散歩など）介助を中心とした外出援助サービス。

〔利用料〕 1時間 1,000円（うち事務費200円）、交通費実費

実績数	26年度実績	25年度実績
利用世帯数	292世帯	241世帯
回数	645回	468回
時間数	1,561時間	1,166時間

オ 会員登録者数

	26年度実績	25年度実績
協力員数	707人	743人
利用者数	1,439人	1,704人
合計	2,146人	2,447人

② 協力会員・利用会員の募集・広報啓発活動

○ 協力会員の募集

定期的に登録説明会（登録時研修も併せて実施）を開催して協力員を募集し、地域支え合い有償ボランティア事業に係わる人材の確保を行った。

実績数	26年度実績	25年度実績
開催回数	11回	11回
参加者数	204人	270人
新規登録者	168人	231人

③ 会報誌「ほっ・と通信」の発行

〔発行回数〕 年4回：各2,400部発行

④ 協力会員懇談会、会員交流会の開催

○ 会員交流会の開催

交流会を開催し、情報交換や悩み事相談の場を設定し協力会員相互の交流を深める場を設定した。

〔開催回数〕 年1回

⑤ 協力会員に関する研修（登録時、スキルアップ）の開催

ア 協力会員研修（協力員スキルアップ研修）

多様化する市民ニーズに応えるため、サービス内容ごとに必要な知識及び技術の向上を目的とした研修を実施した。

実績数	開催回数	受講者数
26年度実績	3回	123人

イ 調整員会議

職員と調整員とのサービス需給調整にかかわる情報共有や課題の検討等を目的に開催した。

〔開催回数〕 事務局（年12回）、地区（年4回）

(4) さっぽろ子育てサポートセンター事業

① 子育て家庭へのサービス（保育園・幼稚園等の送迎、保育園・幼稚園等終了後の託児、子どもの軽い病気の時の託児等）の実施

ア サービスの提供

〔派遣日〕 年中無休

〔派遣時間〕 午前6時から午後10時まで

〔利用対象〕 0歳～原則小学校6年生までの子どもを育てている家庭の人で、札幌市内に居住または勤務先のある人。

〔サービス内容〕 保育所・幼稚園の送り迎え、保育所・幼稚園・学校・児童クラブ終了後の託児、子どもの軽い病気、保育施設の休日などの場合の臨時的な預かり等。

〔利用料〕 30分 350円（月曜日から金曜日の午前7時から午後7時）
30分 400円（上記以外の時間帯）

実績数	26年度実績	25年度実績
回数	14,370回	14,443回
時間数	18,861時間	17,095時間

イ 会員登録者

項目	26年度実績	25年度実績
提供会員	510人	462人
依頼会員	3,061人	2,425人
両方会員	167人	144人
合計	3,738人	3,031人

② サポートセンター会員の募集・広報啓発活動

○ 会員の募集

説明会を開催して会員を募集し、さっぽろ子育てサポートセンター事業に係わる会員の確保を行った。

実績数	26年度実績	25年度実績
開催回数 (定期)	124回 全市対象4回 各区対象120回	124回 全市対象4回 各区対象120回
〃 (個別)	随時	随時
参加者数	1,103人	1,163人
新規登録者数	906人	1,066人

③ 会報誌「さぼめーる」の発行

〔発行回数〕 年1回：4,500部発行

④ サポートセンター会員交流会の開催

交流会を開催し情報交換や会員(依頼会員・提供会員)相互の交流を深める場を設定した。

実績数	26年度実績	25年度実績
開催回数	全体交流会： 1回 区別交流会：10回	全体交流会： 1回 区別交流会：10回
参加人数	126人	114人
託児数	59人	48人

⑤ サポートセンター会員に関する研修(新規提供会員登録時、レベルアップ)の開催

ア 各種研修

さっぽろ子育てサポートセンター新規提供会員講習会。

新規に登録した提供会員を対象に、活動に必要な知識及び技術の習得を目的とした講習会を実施した。

実績数	26年度実績	25年度実績
開催回数	4回	4回
受講者数	151人	170人

イ さっぽろ子育てサポートセンターレベルアップ講習会

提供会員の知識及び技術の向上を目的とした講習会を実施した。

実績数	26年度実績	25年度実績
開催回数	3回	3回
受講者数	57人	50人

ウ 連絡調整会議

アドバイザーとサブ・リーダーとの定期的な情報交換のため連絡調整会議を開催した。

〔開催回数〕 サブ・リーダー会議 年12回(内3回 サブ・リーダー、エリア・リーダー合同会議)

2 福祉的な支援を必要とする方々を支える活動の推進

〔1〕 高齢者・障がい者生活あんしん支援センターの運営

(1) 日常生活自立支援事業

項目	26年度実績	25年度実績
相談・調整件数	22,076件	21,736件
契約延べ件数	797件	767件
項目	26年度実績	25年度実績
高齢者	512件	492件
知的障がい	128件	123件
精神障がい	133件	130件
その他	24件	22件
合計	797件	767件

解約延べ件数	26年度実績	25年度実績
高齢者	381件	338件
知的障がい	67件	60件
精神障がい	102件	93件
その他	17件	15件
合計	567件	506件
現契約件数	26年度実績	25年度実績
高齢者	131件	154件
知的障がい	61件	63件
精神障がい	31件	37件
その他	7件	7件
合計	230件	261件

〔生活支援員登録人数〕

〔単位：人〕

	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲	合計
26	44	42	34	25	40	38	17	22	32	18	312
25	39	39	31	23	38	32	15	24	33	15	289

① 生活支援員の養成と研修の実施

ア 権利擁護事業や成年後見制度に関する講師派遣説明会 17回

参照：5〔1〕(4)④

イ 生活支援員候補者研修

〔開催日〕 平成26年6月24日、10月9日

〔場所〕 社会福祉総合センター

〔内容〕 日常生活自立支援事業の概要
生活支援員の活動の概要・実際（実践報告）他

〔参加者〕 29名、15名

ウ 生活支援員現任者研修

〔開催日〕 平成26年7月14日

〔場所〕 社会福祉総合センター

〔内容〕 「①社会福祉協議会の仕事～
統合後の状況と権利擁護事業について」
札幌社会福祉協議会 自立支援課長 中路 康夫

「②こんな時どうする？ 支援活動Q&A」

説明 札幌市社会福祉協議会 職員、専門員

〔参加者〕 48名

エ 生活支援員登録者研修

〔開催日〕 平成26年8月25日、9月30日

〔場所〕 社会福祉総合センター

〔内容〕 「札幌近郊の高齢者住宅の現状」
シーズネット代表 奥田 龍人 氏
「高齢者の施設・住宅と介護保険」

あんしん住まいサッポロセンター長 西原 桂子氏

〔参加者〕 47名、45名

② 権利擁護審査会の開催

権利擁護審査会 12回

〔開催日〕 毎月第3木曜日（※1月、2月のみ第4木曜日で実施）

〔場 所〕 社会福祉総合センター

③ 関係機関・団体との連携推進

④ 周知活動の推進

(2) 法人後見事業

○ 権利擁護審査会の開催

項 目	26年度実績	25年度実績
高齢者	5件	4件
知的障がい	2件	2件
精神障がい	1件	1件
その他	0件	0件
合計	8件	7件

※ 権利擁護審査会（日常生活自立支援事業と併用）【再掲】 12回

(3) 成年後見制度利用支援事業

① 成年後見制度に関する相談の実施

実 績 数	26年度実績	25年度実績
相談・調整件数	3,963件	2,606件

② 市長申立て事務

実 績 数	26年度実績	25年度実績
高齢者	34件	15件
障がい者	9件	3件

③ 後見人等報酬助成件数

実 績 数	26年度実績	25年度実績
高齢者	10件	5件
障がい者	5件	4件

(4) 市民後見推進事業

① 後見実施機関の設置（市民後見人の活動支援等）

高齢者・障がい者生活あんしん支援センター内に市民後見実施機関を設置。

・札幌市市民後見推進事業運営委員会 4回

（委員構成…弁護士、司法書士、社会福祉士、税理士、行政書士、学識経験者、成年後見機関・団体、行政）

② 市民後見人養成研修及びフォローアップ研修の実施

【基礎研修】

〔開催日〕 平成26年10月8日～12月3日 全9回

〔場 所〕 社会福祉総合センター

〔受講者〕 45名

【実務研修】

〔開催日〕 平成27年1月14日～3月3日 全10回（実習含む）

〔場 所〕 社会福祉総合センター、市内社会福祉施設 等

〔受講者〕 44名

〔養成研修最終修了者〕 44名

〔市民後見人候補者登録者数〕 43名

③ 成年後見制度に関わる関係機関・団体との連携

〔開催日〕 平成26年9月24日

〔場 所〕 札幌市社会福祉総合センター

〔内 容〕 各機関・団体からの現況報告、意見交換
(札幌家庭裁判所、専門職後見人機関、札幌後見支援の会、札幌市)

④ 成年後見制度に関する普及及び啓発

権利擁護事業や成年後見制度に関する講師派遣説明会 17回(26回)

a) 民生委員児童委員研修会、老人クラブ、サロン・サークル(一般市民含む)

〔テーマ〕 日常生活自立支援事業と成年後見制度等

〔回 数〕 5回(9時間)

〔参加者〕 88人

b) 当事者組織(家族会、当事者グループなど)研修

〔テーマ〕 日常生活自立支援事業と成年後見制度等

〔回 数〕 3回(5時間)

〔参加者〕 73人

c) 関係機関(介護支援専門員、地域包括支援センター、自立支援協議会)研修

〔テーマ〕 日常生活自立支援事業と成年後見制度及び市民後見人について

〔回 数〕 5回(8時間)

〔参加者〕 276人

d) 専門学校、施設等

〔テーマ〕 日常生活自立支援事業と成年後見制度

〔回 数〕 4回(4時間)

〔参加者〕 65人

(5) 福祉サービス苦情相談事業

① 福祉サービス苦情相談事業

ア 相談件数

項 目	26年度実績	25年度実績
苦情	31件	40件
相談	76件	73件
問合せ	14件	13件
その他	25件	24件
合計	146件	150件

イ 福祉サービス調整委員会の開催

4月16日、10月15日

ウ 「平成25年度苦情取扱状況報告書」の作成(500部)

② 福祉サービス調整委員会の開催

(6) 障がい者あんしん相談事業

[相談件数]

[単位：件]

	身体 危害	財産	相続	金融	雇用	職場 関係	知人 関係	家族 関係	その他	計
26	14	1	9	72	23	78	176	85	1,911	2,369
25	15	14	8	67	32	85	132	77	1,555	1,985

[法律相談件数] (毎月第2水曜日実施)

[単位：件]

	身体 危害	財産	相続	金融	雇用	職場 関係	知人 関係	家族 関係	その他	計
26	0	0	0	5	0	0	1	0	0	6
25	0	0	0	2	1	1	1	0	1	6

○札幌市地域自立支援協議会への参画 11回

(7) 障がい者虐待相談事業

[相談件数] 85件 (64件)

[虐待通報] 11件 (13件) (重複項目あり)

	身体的虐待	心理的虐待	性的虐待	放棄放任	経済的虐待	計
26	5件	6件	0件	2件	1件	14件
25	3件	7件	0件	2件	2件	14件

① 障がい者虐待防止セミナー (民生委員・児童委員対象)

[開催日] 平成27年2月5日

[場所] 札幌エルプラザ3階ホール

[内容] 講演「障害者虐待防止法の概要について」

講師 松坂 優 氏 (特定非営利法人わーかーびいー 理事長)

報告「札幌市障がい者虐待相談事業について」

説明 札幌市社会福祉協議会自立支援課相談係

[参加者] 167名 (167名)

② 障がい者への虐待防止を考える講演会

[開催日] 平成26年10月28日

[場所] 札幌市社会福祉総合センター4階大研修室

[内容] 講演「障がい者虐待防止の課題と展望」

講師 鈴木 敏彦 氏 (和泉短期大学 教授)

[参加者] 152名 (171名)

(8) 中国帰国者生活相談室運営事業

[相談件数] 5,690件 (4,784件)

[単位：件]

	就労	生活	国籍	医療	教育	住宅	日本語	悩み	支援 給付	支援 計画	その他
26	2	1,287	2	3,618	74	45	2	3	503	54	100
25	61	1,303	0	2,481	122	51	4	6	581	59	116

[その他] さっぽろヤングアース祭に協力、中国帰国者新年交流会に協力

(9) 高齢者虐待電話相談事業

① 相談件数 24件 (44件)

② 虐待相談 11件 (31件) (重複項目あり)

	身体的虐待	心理的虐待	放棄放任	経済的虐待	その他	計
26	8件	5件	2件	2件	0件	17件
25	16件	10件	2件	12件	2件	42件

③ 対応結果

	助言等で終結	行政に通報等	計
26	7 件	4 件	11 件
25	19 件	12 件	31 件

〔2〕各種資金貸付事業の推進

(1) 生活福祉資金貸付事業（不動産担保型生活資金、要保護世帯向け不動産担保型生活資金、臨時特例つなぎ資金を含む）

資金種別	貸付件数 (H26/H25)		金 額 (H26/H25)	
福祉資金	26 件	34 件	16,458,000 円	20,614 千円
緊急小口資金	18 件	30 件	1,690,000 円	2,368 千円
教育支援資金	81 件	100 件	76,993,000 円	100,607 千円
総合支援資金	39 件	135 件	12,354,900 円	42,208 千円
①生活支援費	39 件	132 件	12,354,000 円	41,386 千円
(新規)	17 件	38 件	6,488,000 円	15,545 千円
(継続)	22 件	94 件	5,866,000 円	25,841 千円
②住宅入居費	0 件	1 件	0 円	192 千円
③一時生活再建費	0 件	2 件	0 円	630 千円
不動産担保型生活資金	1 件	0 件	月額 120,000 円	月額 0 千円
要保護不動産担保型生活資金	3 件	4 件	月額 400,045 円	月額 478 千円
合 計	164 件	299 件	107,495,000 円	165,798 千円

※不動産担保型生活資金は毎月貸付のため総計に計上していません。

資金種別	貸付件数 (H26/H25)		金 額 (H26/H25)	
臨時特例つなぎ資金	2 件	3 件	160,000 円	300,000 円

※臨時特例つなぎ資金は、平成26年度1年間の延長が決定（最終年度）。

(2) 特別（冬期）生活資金貸付事業

	26年度実績	25年度実績
貸付件数	6 件	12 件
貸付金額	280 千円	570 千円

(3) 応急援護資金貸付事業

	26年度実績	25年度実績
貸付件数	15 件	23 件
貸付金額	1,366 千円	2,078 千円

(4) 要保護世帯等援護事業

- ① 要保護世帯援護一時貸付金（保護開始までのつなぎ資金）
- ② 一時宿泊困窮者緊急援護資金
- ③ 一時浮浪者援護資金（浮浪者移送費）
- ④ 冬季暖房器具購入資金

(5) 生活福祉資金貸付調査委員会の開催

毎月1回／計12回開催（定例開催）

(6) 無縁物故者盂蘭盆法要の実施

日時：平成26年8月20日 午後4時～午後5時

会場：浄土宗北縁山 新善光寺

〔3〕生活・就労支援センターあつべつの運営

(1) 自立相談支援事業の実施

○ 生活・就労支援センターあつべつの受託運営【新規事業】

〔設置日〕 平成26年1月8日

〔設置場所〕 札幌市厚別区厚別中央3条3丁目2-17

① 相談者数

	26年度実績	25年度実績※
相談者数	169人	75件
相談者累計	917件	173件

※平成25年度期間（平成26年1月8日～3月31日）同項以下同じ

② 相談対応の状況（相談件数）

対象者の性別	26年度実績					25年度実績※				
男	591件					104件				
女	320件					65件				
不明	6件					4件				
世帯状況	単身	母子・父子家庭（親）		父母と同居		その他		不明		
26年度実績	237件	91件		345件		101件		143件		
25年度実績※	21件	11件		79件		37件		25件		
対象者の年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代~	不明	
26年度実績	12件	261件	132件	177件	130件	130件	34件	7件	34件	
25年度実績※	13件	17件	35件	24件	47件	11件	5件	1件	20件	
相談内容	仕事探し、就職	ひきこもり・不登校	病気・健康・障害	収入・生活費		債務	業務の問い合わせ	その他		
26年度実績	622件	86件	31件	25件		9件	23件	121件		
25年度実績※	90件	29件	10件	7件		5件	13件	19件		
対応状況	面談					電話				
26年度実績	419件					498件				
25年度実績※	95件					78件				
相談エリア	厚別区内		区外		市外		不明			
26年度実績	858件		30件		8件		21件			
25年度実績※	146件		14件		7件		6件			
手帳の有無	身体障がい		知的障がい		精神障がい		なし		不明	
26年度実績	35件		15件		20件		694件		153件	
25年度実績※	1件		0件		5件		136件		31件	

(2) 就労準備支援の実施

① 就労準備支援件数 16件（うち再プラン5件）

② 中間的就労支援件数 3件

(3) 家計相談支援モデル事業

① 相談支援件数：2件

② ライフイベント表・キャッシュフロー表作成支援件数：1件

3 地域の社会資源との連携・協働によるネットワークの推進

〔1〕市民への福祉情報の提供と広報・啓発活動の充実強化

(1) 地域活動団体、施設及び専門機関との連携の推進

- ① 地域福祉ネットワーク事業
・地域福祉のネットワークづくりへの支援【再掲：A 1〔1〕(2)】

- ② 札幌市介護保険サービス事業所連絡協議会の運営支援

- ③ 札幌市介護支援専門員連絡協議会への協力

(2) 地域包括支援センター及び介護予防センターとの連携強化

- ① 地域包括支援センターの運営【再掲：B 3〔1〕(2)】

- ② 介護予防センターの運営【再掲：B 3〔1〕(3)】

- ③ 区・地区福祉のまち推進センター支援事業

- ・地域の個別問題の解決に向けた仕組みづくりの検討
- ・福祉のまち推進センターと地域包括支援センター及び介護予防センターの連携強化【再掲：A 1〔2〕(14)】

(3) 福祉情報の共有化と有効活用の推進

- ① 広報誌「やさしい街」発行事業

〔発行回数〕 年6回

〔発行部数〕 16,000部(1回につき)

- ② ホームページ運営事業

〔内容〕 ボランティア情報、福祉のまちづくり情報、福祉用具情報、ふれあい・いきいきサロン紹介、相談窓口、本・ビデオ紹介、区社協ページ、総合センター貸室情報、広報誌紹介 他

- ③ 情報センター管理運営事業

- ・利用促進と地域、学校への情報提供
- ・図書の実質化と利便性の向上
- ・自主事業(読み聞かせ等)による広報啓発、情報提供
- ・図書館ボランティアの育成と受入
- ・市民向け情報誌「介護保険サービス事業者情報」の作成

○利用状況

利用状況	26年度実績	25年度実績
開館日数(日)	280日	294日
貸出利用者数(名)	9,807名	10,454名
1日平均	35名	35名
貸出冊数(冊)	29,404冊	32,147冊
1日平均	106冊	107冊
新規登録者(名)	379名	435名

○登録状況

登録状況	26年度実績	25年度実績
個人	15,081人	14,709人
福祉団体(団体)	56団体	50団体
その他(団体)	18団体	18団体

○資料室の運営（図書資料サービス）

	26年度実績	25年度実績
図書資料蔵書数	22,135冊	27,419冊
ビデオ・DVD	944本	1,996本

○情報センター朗読会の開催

a) 親子で楽しむ朗読会

	26年度実績	25年度実績
開催回数	3回	3回
参加者数	57人	61人

b) 大人のための朗読会

	26年度実績	25年度実績
開催回数	6回	6回
参加者数	358人	335人

○図書ボランティアの育成

	26年度実績	25年度実績
登録者数	10人	11人
活動回数	68回	76回

(4) 社会参加の促進と福祉啓発の推進

① 社会参加の促進

ア 福祉用具利用促進事業

・福祉用具等の展示及び相談

a) 福祉用具関連企業連絡会

〔会員数〕 29会員
 〔出席者〕 12会員
 〔開催日〕 1月15日

b) 福祉用具相談

	26年度実績	25年度実績
相談件数	3,120件	2,734件
見学・視察	3,409名	3,409名

c) 福祉用具リサイクル事業

	26年度実績	25年度実績
譲ります情報	130件	132件
譲ってください情報	149件	148件
成立件数	100件	123件

d) 福祉用具特設展示及び講演会の開催

〔開催日〕 平成26年11月18日

〔場 所〕 社会福祉総合センター

〔内 容〕 講 演：「福祉用具で豊かにくらす ～お年寄りの生活をつくる福祉用具～」

講 師：岡田 しげひこ氏（特定非営利活動法人HPT 統括部長 理学療法士）

展示会：福祉用具展示ホール内

〔参加者〕 120名

e) 福祉用具展示ホール 月イチイベント事業

福祉機器展示ホールを活用したイベント行事の開催（毎月第2土曜日）

実施日	イベント名	参加人数
9月13日	3次元足型計測器によるシューズ	50人
10月11日	自宅でできる転倒予防運動講習会	29人
11月8日	作ってみよう利用者にあった福祉用具講習会	15人
12月13日	冬に備える福祉用具展示会・相談会	27人
2月14日	最新！介護用ベット展示会・相談会	30人
3月14日	お出かけやおやすみも安心！排せつケア講習会・相談会	35人

f) 福祉機材貸出事業

	26年度実績	25年度実績
高齢者疑似体験セット	27件	21件
車いす	47件	55件

イ 札幌市高齢者福祉バス事業

a) 運行状況

※〔宿泊66台、日帰り393台〕

	26年度実績	25年度実績
利用台数	※ 459台	397台
利用者数	15,331名	12,583名

b) 高齢者福祉バス運営委員会

〔開催日〕 平成27年2月2日

〔場所〕 社会福祉総合センター

〔議題〕 平成26年度高齢者福祉バス運行状況について
平成27年度高齢者福祉バス事業計画（案）について
新規高齢者団体の登録審査について 他

ウ 働く障がい者のつどい事業

第49回働く障がい者のつどい事業

〔開催日〕 平成26年12月3日

〔場所〕 札幌すみれホテル 3階 ヴィオレ

〔内容〕 障がい者及び雇用主表彰、アトラクション、交流会

〔参加者〕 106名（115名）

エ 障がい者の日記念事業に対する協力

a) 障がい者の日記念事業

〔開催日〕 平成26年11月下旬から12月上旬

〔内容〕 実行委員会、交流会等への参加

b) タクシーの日記念事業（札幌ハイヤー協会）に対する協力

〔開催日〕 平成26年8月3日

〔場所〕 札幌市役所ロビー（出発式）

〔内容〕 社団法人札幌ハイヤー協会主催で、障がい者と家族を
タクシーによる日帰り無料観光旅行

〔参加者〕 43家族124名（49家族136名）

オ 人権セミナーに対する協力

第23回人権セミナー（人権セミナー実行委員会）に対する協力

〔開催日〕 平成27年2月15日

〔場 所〕 社会福祉総合センター

〔内 容〕 分科会（4テーマ）、アトラクション、分科会報告、全体会

〔参加者〕 238名（243名）

カ 精神保健福祉事業への協力

② 福祉啓発の推進

ア 札幌市社会福祉大会の開催

〔開催日〕 平成26年7月3日

〔場 所〕 札幌市民ホール

〔内 容〕 記念講演「出会いの人生から学んだこと」

講師 菊地 幸夫 氏

表彰式

〔参加者〕 1,400名（1,250）

イ 広報誌「やさしい街」発行事業【再掲：A3〔1〕（3）①】

ウ ホームページ運営事業【再掲：A3〔1〕（3）②】

エ 情報センター管理運営事業【再掲：A3〔1〕（3）③】

オ 社協PR用パンフレット等の作成

(5) 社会福祉事業関係者への支援と拠点管理

① 社会福祉施設への支援（施設福祉部会事業）

○ 民間社会福祉施設中堅職員国内派遣研修事業

a) 知的関係分野

〔期間等〕 平成26年7月7日～9日【横浜市】

〔参加者〕 社会福祉法人札幌親会さつきたそうゆめくる副主任 笹原秀仁

〔内 容〕 視察研修 社会福祉法人 訪問の家「朋」

社会福祉法人 訪問の家「杜の家 セルプ杜」

b) 救護関係分野

〔期間等〕 平成26年6月18日～20日【熊本市】

〔参加者〕 社会福祉法人札幌厚生会白石福祉園生活指導係長 向後圭介

〔内 容〕 視察研修 救護施設「银杏寮」、「真和会」

② 社会福祉施設新人職員セミナーの開催

〔開催日〕 平成26年7月23日

〔場 所〕 ホテル札幌ガーデンパレス

〔内 容〕 ①研修会 テーマ「より良い人間関係をめざして

～声なき声に応える」

講師 株式会社アムリプラザ 取締役 坂井 礼子 氏

②交流会「会食・ゲーム」

〔参加者〕 105名（127名）

③ 社会福祉施設職員救急法セミナーの開催

〔開催日〕 平成26年8月26日・27日、28日

〔場 所〕 社会福祉総合センター、市ボランティア活動センター

〔内 容〕 普通救命講習Ⅱ（4時間）

〔参加者〕 合計 143名（104名）

④ 第57回大都市社会福祉施設協議会への参加

〔開催日〕 平成26年7月17日～18日

〔場 所〕 シェラトン都ホテル大阪

〔テーマ〕 「大都市における社会福祉施設に、今、求められることは
～ 新たな地域のつながりを創造する ～」

〔内 容〕 運営協議会、基調講演、種別研究会、総会 他

〔参加者〕 5名

障がい者支援施設グリーンハイム

常務理事・総合施設長 村瀬広符美 氏

社会福祉法人札幌慈啓会

専務理事・総合施設長 加藤 敏彦 氏

札幌あいりん荘

施設長 岩井 誠一 氏

札幌この実会

事務局次長 川路 彰 氏

静心寮

施設長 福嶋 拓明 氏

○課題解決事業の開催

〔開催日〕 平成26年11月26日

〔場 所〕 札幌市社会福祉総合センター

〔テーマ〕 魅力発見！「ホームヘルパーの仕事と事業所説明会」

〔内 容〕 ①活動発表

「これがホームヘルパーの仕事です～その魅力と夢を語る～」

発表者 ・北海道ホームヘルプサービス協会

会長 七戸 キヨ子 氏

・社会福祉法人アンビシャス

前施設長 小山内美智子 氏

・札幌市社会福祉協議会 西ヘルパーセンター

所長 伊藤 道子 氏

②事業所説明会

参加事業所 5 社会福祉法人、9 事業所

〔参加者〕 全体来場者 60名

事業所説明会来場者数 26名

⑤ 区社協及び各種団体への助成

ア 区社協助成事業

イ 各種団体助成事業

⑥ 介護保険事業所および介護施設等に勤務する職員への支援

○ 介護職員人材定着化事業（研修）

市内の介護保険事業所に従事する介護職員等の離職を防ぎ、介護現場の
人材定着を目的に介護職員等の労働環境づくりに役立つ研修を実施。

ア メンタルヘルス対策研修会

〔開催日〕 平成26年11月26日、12月1日、
平成27年1月16日、1月28日（4回）

〔内 容〕 働く人のストレスとメンタルヘルス、セルフケアについてほか

〔人 数〕 計182名

イ コーチング体験講座

〔開催日〕 平成26年12月5日、平成27年1月9日、
1月30日、2月2日（4回）

〔内容〕 コミュニケーションスキルとしてのコーチング（入門編）

〔人数〕 計168名

ウ 職場における腰痛予防対策について

〔開催日〕 平成26年10月28日、11月5日、
平成27年1月14日、1月20日（4回）

〔内容〕 腰痛予防・腰痛軽減のための運動療法 ほか

〔人数〕 計136名

エ モチベーション向上研修

〔開催日〕 平成26年11月14日、平成27年1月7日（2回）

〔内容〕 仕事のモチベーション、部下のモチベーションの向上 ほか

〔人数〕 計77名

オ コミュニケーションスキル・接遇

〔内容〕 コミュニケーションの基本、積極的な傾聴、効果的な伝え方ほか

〔人数〕 計106名

カ 介護職員に求められる法律の基礎知識

〔開催日〕 平成26年12月10日（1回）

〔内容〕 介護事故が発生した時の迅速な対応について（法的責任論から解説）

〔人数〕 計50名

キ クレーム対応研修（基礎編）

〔開催日〕 平成26年12月16日（1回）

〔内容〕 コミュニケーションスキルの基本（振り返り）、クレーム対応
の注意点および事例検討

〔人数〕 38名

ク 認知症に対する基礎研修

〔開催日〕 平成26年12月9日、平成27年1月22日（2回）

〔内容〕 認知症高齢者に対する基本的な関わり方ほか

〔人数〕 計129名

ケ 人材を定着させる方法（経営的な視点）

〔開催日〕 平成26年12月3日（1回）

〔内容〕 人材を定着・育成させるための組織づくりのポイントについて

〔人数〕 計46名

⑦ 拠点管理

ア札幌市社会福祉総合センター管理運営事業（札幌市指定管理者施設）

a) 施設利用状況

	26年度実績	25年度実績
利用団体数	5,758 団体	5,570 団体
利用人数	246,399 名	252,026 名

b) 相談コーナー利用状況

	26年度実績	25年度実績
母子相談	1,079 件	1,054 件
年金相談	14 件	16 件

高齢者相談	253 件	189 件
法律相談	18 件	27 件

イ 札幌市情報センター管理運営事業【再掲：A3〔1〕(3)③】

〔2〕障がい者関係団体ネットワーク事業の実施

- (1) 働く障がい者のつどい事業【再掲：A3〔1〕(4)①ウ】
- (2) 障がい者の日記念事業に対する協力【再掲：A3〔1〕(4)①エ】
 - ① 障がい者の日記念事業
 - ② タクシーの日記念事業（札幌ハイヤー協会）に対する協力
 - ③ 人権セミナーに対する協力
 - ④ 精神保健福祉事業への協力

〔3〕企業・市民が参加しやすい福祉貢献の環境づくり

- (1) 会員の加入促進（正会員の整備と賛助会員の増員）
- (2) 各種基金等の管理・運営
社会福祉基金、矢館福祉基金、八重樫福祉基金、種田福祉基金、仁和福祉基金、根っ子の会福祉基金、百年基金、愛情銀行

〔4〕第6期ボランティア大学の開設

○札幌ときめき大学【再掲：A1〔5〕(1)⑤j】

〔5〕障がい者講師等派遣事業

- 札幌市障がい者講師等派遣事業の実施【再掲：A1〔5〕(1)⑯】
 - ア 障がい者講師養成講座の開催
 - イ PRイベントの開催
 - ウ 障がい者講師の派遣

〔6〕介護サポートポイント事業

- 介護サポートポイント事業の実施【再掲：A1〔5〕(1)⑰】
 - ア 受入施設数・サポーター登録者数
 - イ 介護サポーター研修の開催（集合・出張形式）
 - ウ 介護サポーターフォローアップ講座の開催
 - エ 介護サポーターフォローアップ講座の開催（体験型）

B 在宅福祉サービス事業の推進

1 自主事業による在宅福祉サービスの提供

〔1〕地域支え合い有償ボランティア事業

- (1) 地域支え合い有償ボランティア事業【再掲：A1〔5〕(3)】
 - a) 家事援助サービス（えぷろんサービス）
 - b) 生活支援サービス（かいてきサービス）
 - c) 外出援助サービス（お出かけ同行サービス）
- (2) さわやかヘルプサービス
 - 〔派遣日〕 年中無休
 - 〔派遣時間〕 原則、午前7時から午後9時まで（月～土曜日）

	午前8時から午後8時まで（日曜日）
〔利用対象〕	原則として介護保険または障害者総合支援のいずれかで市社協を利用中であり、生活に支障があり、市社協がサービスの必要性を認めた人
〔サービス内容〕	入院中の一時外出・外泊への対応、理・美容院への外出など、本来制度のサービス内容に含まれていないもので、在宅生活の継続にとって必要と思われるサービス
〔利用料〕	介護サービス（さわやか介護） 1,500円/30分 外出介助（さわやか外出） 1,050円/30分 家事援助（さわやかサービス） 1,050円/30分

実績数	26年度実績	25年度実績
利用者数	1,701名	1,768名
回数	6,227回	6,397回
時間数	6,154時間	6,429時間

2 介護保険法等による在宅福祉サービスの提供

〔1〕介護保険法等による在宅福祉サービスの提供

（1）訪問介護及び予防訪問介護事業〔ヘルパーセンター〕

〔事業所〕 中央、北、東、白石・厚別・清田、豊平、南、西、手稲
（中央、北、西は24時間巡回型併設）

〔主な内容〕 要介護認定又は要支援認定を受けた被保険者との契約により、ホームヘルパーが居宅サービス計画及び訪問介護計画に基づいた訪問介護を提供する。

〔派遣日〕 年中無休

〔派遣時間〕 午前7時から午後9時まで（月～土曜日）
午前8時から午後8時まで（日曜日）
中央区、北区及び西区は24時間提供可能

実績数	年度	利用者数	回数	時間数
訪問介護	26	13,356名	151,126回	173,144時間
	25	14,219名	166,138回	191,361時間
介護予防	26	13,647名	78,547回	76,146時間
	25	14,404名	84,388回	84,060時間

（2）地域密着型サービス事業

a) 夜間対応型訪問介護事業〔ナイトケアセンター〕

〔事業所〕 中央

〔主な内容〕 訪問介護において、定期巡回と通報による随時対応を組み合わせることにより、利用者が要介護状態になっても24時間安心して在宅生活が送れるように支援する。

〔派遣日〕 年中無休

〔営業時間〕 午後8時から翌朝午前8時まで

実績数	26年度実績	25年度実績
利用者数	1,141名	1,196名

b) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業 [あんしん24]

[事業所] 中央、北、西

[主な内容] 市内3区3か所の定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所にて、訪問看護ステーションと連携を取りながら、24時間体制でホームヘルパーが計画に基づいた訪問介護を提供する。

[派遣日] 年中無休

[営業時間] 24時間

実績数	26年度実績	25年度実績
利用者数	201名	220名

(3) 居宅介護支援及び介護予防支援事業 [総合支援センターえがお、相談センター]

[事業所] 総合支援センターえがお、中央、北、東、白石・厚別・清田、豊平、南、西、手稲

[主な内容] 要介護認定を受けた被保険者との契約により、介護支援専門員が居宅介護支援を提供する。

[営業日] 月曜日から土曜日まで (ただし、休日及び12/29~1/3を除く)

[営業時間] 午前8時45分から午後5時15分まで
(営業時間以外の相談は、携帯電話で対応する)

実績数	26年度実績	25年度実績
利用者数	37,589名	36,796名

(4) 医療保険による訪問看護、介護保険による訪問介護及び介護予防訪問看護事業 [訪問看護ステーション]

[事業所] 訪問看護ステーションあんしん

[主な内容] 中央区に1ヶ所訪問看護ステーションを開設し、看護師等による訪問看護を提供する。

[営業日] 月曜日から金曜日まで (ただし、休日及び12/29~1/3を除く)

[営業時間] 午前8時45分から午後5時15分まで
(営業時間以外の緊急連絡は、携帯電話で対応する)

利用者数	26年度実績	25年度実績
訪問看護	661名	549名
定期巡回・随時対応型 訪問介護看護連携型	167名	184名

(5) 障害者総合支援法による在宅福祉サービス事業 [ヘルパーセンター]

[事業所] 中央、北、東、白石・厚別・清田、豊平、南、西、手稲
(中央、北、西は24時間巡回型併設)

[主な内容] 障害者総合支援法に基づく支給決定を受けた受給者との契約により、ホームヘルパーが個別支援計画に基づいて支給決定量の範囲内で、居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護および移動支援を提供する。

[派遣日] 年中無休 (行動援護は北区、東区のみ実施)

[派遣時間] 午前7時から午後9時まで (月~土曜日)

午前8時から午後8時まで (日曜日)

中央区、北区、西区の居宅介護および重度訪問介護は、24時間提供可能

実績数	26年度実績	25年度実績
利用者数	9,249名	9,527名
回数	114,873回	118,404回
時間数	135,406時間	140,904時間

3 札幌市からの委託による各種保健福祉事業の提供

〔1〕札幌市からの委託による各種保健福祉事業の提供

(1) 札幌市高齢者生活支援型ホームヘルプサービス事業〔ヘルパーセンター〕

〔主な内容〕 平成11年度に廃止前の札幌市旧要綱に基づくホームヘルプサービスを利用していた者で、介護保険の要介護認定において自立と判定された高齢者等、区保健福祉部が在宅生活を営むうえにおいて支援が必要と認めた高齢者に対し、ホームヘルプサービスの提供を行う。

〔派遣日〕 月曜日から土曜日まで（ただし、休日及び12/29～1/3を除く）

〔派遣時間〕 午前8時から午後8時まで

実績数	26年度実績	25年度実績
利用者数	12名	17名
回数	23回	34回
時間数	47時間	60時間

(2) 札幌市地域包括支援センター運営事業（8か所）

〔事業所〕 中央区第1、北区第1、北区第2、北区第3、東区第1、東区第3、豊平区第1、西区第2

① 地域ケア会議の開催

〔実績数〕

地域ケア会議の開催	26年度実績	25年度実績
運営会議	15回	16回
個別処遇検討会議	32回	40回

〔実績数〕

	中央第1		北第1		北第2	
	運営委員会	個別処遇検討会	運営委員会	個別処遇検討会	運営委員会	個別処遇検討会
26年度実績	2件	5件	2件	7件	2件	7件
25年度実績	2件	7件	2件	1件	2件	4件
	北第3		東第1		東第3	
	運営委員会	個別処遇検討会	運営委員会	個別処遇検討会	運営委員会	個別処遇検討会
26年度実績	2件	1件	2件	6件	2件	4件
25年度実績	2件	4件	2件	2件	2件	4件
	豊平第1		西第2		合計	
	運営委員会	個別処遇検討会	運営委員会	個別処遇検討会		
26年度実績	2件	1件	1件	1件	47件	
25年度実績	2件	17件	2件	1件	56件	

② 総合相談の実施

実績数		26年度実績			25年度実績	
運営会議		9,235件			8,821件	
相談内容	介護保険制度	介護予防	その他の保健福祉サービス	権利擁護	消費者被害	
26年度	7,361件	519件	216件	123件	14件	
25年度	6,630件	735件	272件	121件	11件	
認知症	高齢者虐待	住まいに関すること	心身の健康に関すること	その他	合計	
305件	32件	418件	171件	617件	9,776件	
223件	12件	-	-	817件	8,821件	

③ 予防給付（要支援1・2）

実績数		26年度実績				25年度実績	
ケアプランの作成		11,780件				11,074件	
	中央第1		北第1		北第2		
	要支援1	要支援2	要支援1	要支援2	要支援1	要支援2	
26年度実績	843件	702件	845件	1,088件	645件	616件	
25年度実績	704件	712件	826件	949件	444件	494件	
	北第3		東第1		東第3		
	要支援1	要支援2	要支援1	要支援2	要支援1	要支援2	
26年度実績	490件	585件	877件	840件	488件	445件	
25年度実績	430件	574件	746件	796件	379件	355件	
	豊平第1		西第2		合計		
	要支援1	要支援2	要支援1	要支援2			
26年度実績	803件	1,022件	693件	798件	11,780件		
25年度実績	1,008件	1,452件	546件	659件	11,074件		

④ 二次予防事業対象者プラン作成数

	中央第1	北第1	北第2
26年度実績	75件	44件	44件
25年度実績	65件	34件	30件
	北第3	東第1	東第3
26年度実績	28件	34件	36件
25年度実績	28件	47件	24件
	豊平第1	西第2	合計
26年度実績	23件	40件	324件
25年度実績	22件	28件	278件

⑤ その他の会議の開催・参加

実績数	26年度実績	25年度実績
その他の会議の開催・参加	2,490回	2,573回

(3) 札幌市介護予防センター運営事業（6か所）

[事業所] 中央区・大通公園、北区・新道南、東区・北栄、豊平区・美園
南区・まこまない、手稲区・中央鉄北

① 介護予防調整会議の開催

実績数		26年度実績				25年度実績	
介護予防調整会議		15回				14回	
総合相談の実施		延1,158件				延1,297件	
総合相談	大通公園	新道南	北栄	美園	まこまない	中央・鉄北	合計
26年度実績	203件	119件	276件	210件	223件	127件	1,158件
25年度実績	256件	79件	272件	206件	221件	263件	1,297件

② 介護予防啓発事業の実施

実績数		26年度実績		25年度実績	
回数		385回		419回	
延べ		延9,619人		延9,577人	

[実績数]

[単位：回、

人]

事業内容	大通公園		新道南		北栄		美園	
	実施回数	参加者数	実施回数	参加者数	実施回数	参加者数	実施回数	参加者数
すこやか倶楽部	31	654	42	881	28	561	20	634
	38	756	38	641	24	442	22	670
介護予防教室	10	257	8	153	4	83	6	222
	4	85	2	34	4	92	6	169
転倒予防教室	10	216	12	281	25	568	8	235
	9	187	21	365	26	526	12	165
認知症予防教室	7	143	7	155	4	83	6	221
	10	214	6	114	7	153	7	201
研修会・講演会	1	51	2	65	1	36	2	91
	2	49	26	429	1	43	4	165
相談会	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0
イベント	2	164	8	278	2	243	6	514
	3	330	6	243	2	200	3	230
合計	61	1,485	79	1,813	64	1,574	48	1,917
	66	1,621	99	1,826	64	1,456	54	1,600
事業内容	まこまない		中央・鉄北		合計			
	実施回数	参加者数	実施回数	参加者数	実施回数	参加者数		
すこやか倶楽部	23	590	37	675	181	3,995		
	19	477	36	607	177	3,593		
介護予防教室	7	180	10	160	45	1,055		
	14	319	10	171	40	870		
転倒予防教室	16	396	18	321	89	2,017		
	16	361	12	198	96	1,802		
認知症予防教室	9	182	11	187	44	971		
	6	136	11	180	47	998		

研修会・講演会	0	0	0	0	6	243
	2	423	1	154	36	1,263
相談会	0	0	0	0	0	0
	0	0	7	24	7	24
イベント	2	139	0	0	20	1,338
	0	0	2	24	16	1,027
合 計	57	1,487	76	1,343	385	9,619
	57	1,716	79	1,358	419	9,577

③ 地域福祉活動支援業務の実施

実績数	26年度実績	25年度実績
回	355回	421回
延べ	延8,063人	延10,069人

[実績数]

[単位：回、人]

事業内容	大通公園		新道南		北栄		美園	
	実施回数	参加者数	実施回数	参加者数	実施回数	参加者数	実施回数	参加者数
民生委員・児童委員	6	102	0	0	0	0	5	162
	7	84	0	0	0	0	3	106
福祉のまち推進活動従事者	4	266	0	0	13	742	25	791
	6	288	0	0	12	807	32	907
介護予防事業従事者	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0
町内会組織	4	83	25	432	2	77	23	561
	7	126	14	318	24	480	27	654
その他	31	504	36	808	26	382	23	520
	26	350	29	604	10	178	15	354
合 計	45	955	61	1,240	41	1,201	76	2,034
	46	848	43	922	46	1,465	77	2,021

事業内容	まこまない		中央・鉄北		合 計	
	実施回数	参加者数	実施回数	参加者数	実施回数	参加者数
民生委員・児童委員	8	95	14	203	33	562
	5	77	15	234	30	501
福祉のまち推進活動従事者	3	194	25	369	70	2362
	4	447	20	437	74	2886
介護予防事業従事者	5	200	1	22	6	222
	22	469	0	0	22	469
町内会組織	10	154	3	35	67	1342
	85	2132	14	311	171	4021
その他	48	1158	15	203	179	3575
	11	256	33	450	124	2192
合 計	74	1801	58	832	355	8063
	127	3381	82	1432	421	10,069

④ その他の会議の開催・参加

実績数	26年度実績	25年度実績
その他の会議の開催・参加	584回	539回

(4) 札幌市訪問型介護予防事業

〔主な内容〕 二次予防事業対象者のうち、地域包括支援センターから依頼のあった事業利用者に対して、要介護状態となることの予防を目的とし、委託した訪問指導員（保健師、看護師）が個別援助計画に基づく月一回の家庭訪問指導を実施している。

実績数	26年度実績	25年度実績
回数	1,119回	1,257回

(5) 札幌市要介護認定調査事務事業〔調査センター〕

〔主な内容〕 指定市町村事務受託法人の事業として、札幌市やその他の市町村からの依頼により、介護支援専門員である要介護認定調査員が認定調査を行う。

サービス		26年度実績	25年度実績
札幌市	介護保険	69,709件	63,208件
	生活保護	705件	657件
他市町村		2,715件	2,579件

(6) さっぽろ子育てサポートセンター事業【再掲：A1〔5〕(4)】

4 在宅支援に関する研修事業の推進

〔1〕在宅支援に関する研修事業

(1) 在宅支援に関する研修事業

① 介護職員初任者研修の実施

介護員・居宅介護従事者の養成を行うため介護職員初任者研修を実施した。

実績数	開催回数	養成者数
26年度実績	2回	26人

② 同行援護従業者養成研修の実施

③ 訪問指導員研修の実施

④ 専門職としての知識及び技術の向上を図るための職員研修の実施

ア 市民を対象とした介護技術等の普及に関する研修

在宅介護を行っている家族や介護に関心のある「子どもから高齢者まで」を対象に在宅介護に関する知識や技術の習得を目的とした出前介護教室（研修会）などを実施した。

実績数	開催回数	養成者数
26年度実績	58回	1,400人

イ 有資格未就労者及び介護業務従事者を支援する研修

介護現場で働いている人を対象に、介護技術等の質的向上及び職場への定着を目的とした研修会を実施した。

実績数	26年度実績	25年度実績
開催回数	3回	3回
受講者数	52人	53人

⑤ かんたん！らくらく介護教室

一般市民や各事業所の介護職員を対象に、実践的な知識や技術の普及啓発等を目的とし「かんたん！らくらく介護教室」を実施した。

- ・市民を対象とした介護技術等の普及に関する研修

在宅介護を行っている家族や介護に関心のある「子どもから高齢者まで」を対象に在宅介護に関する知識や技術の習得を目的とした出前介護教室（研修会）などを実施した。

実績数	26年度実績	25年度実績
開催回数	58回	45回
受講者数	1,400人	998人

C 施設福祉サービス事業等の推進

1 養護老人ホーム札幌市長生園管理運営事業

〔1〕養護老人ホーム札幌市長生園管理運営事業（札幌市指定管理者施設）

[施設概要] 居室50室（個室）、浴室、食堂兼集会室、医務室、ショートステイ1室3床

[入所定員] 50名

[内 容] 環境上の理由及び経済的理由により、居宅において養護を受けることが困難な高齢者に対し、入所して養護するとともに、自立した日常生活を営み、社会参加活動に参加するために必要な指導及び訓練その他の援助を行った。
また、特定施設入居者生活介護施設として、自立した生活が困難になってきている入所者に対し介護保険サービスを提供する等、サービスの向上を図った。

[年齢別状況]

年齢	性別	男	女	計
69才以下		0名	0名	0名
70才～74才		1名	3名	4名
75才～79才		0名	7名	7名
80才～84才		1名	14名	15名
85才以上		1名	23名	24名
合計		3名	47名	50名
構成比		6.0%	94.0%	100.0%

(1) 措置による養護老人ホーム入居者の支援

① 生活指導の実施

- 入所者に対し深い理解と関心を持って接し、秩序ある集団生活が営まれるよう指導助言の実施。
- 入所者の生活向上のための指導の実施。
- 生活相談員による生活相談。（随時）
- 入所者の身体的及び精神的条件に応じ、機能の回復、及び減退の防止。
- 入所者の個別処遇計画の調整、指導それに伴う全職員参加による処遇会議の開催。（毎週木曜日）
- 24時間入所者が安心して園生活を送れるよう夜勤体制の実施。

② 給食の実施

- a) 給食は、食品の種類及び調理法、入所者の身体的特性に適合した栄養が確保されるよう考慮し、入所者の身体的状況及び嗜好を考慮した献立により実施。
- b) 管理栄養士による週間予定献立表及び実施献立表の作成・掲示、また、病弱者に対しては医師の指導による症状に適した特別食の献立の実施。
- c) 食堂で食事の摂取ができない入所者に対して、居室での食事介助。

③ 保健衛生等の実施

- a) 入所者に対し保健衛生、健康管理の維持の向上。
- b) 看護職員による健康相談の実施（平日毎日）。
- c) 入所者の健康診断を年2回実施。
- d) 医師による診察を週1回程度医務室において実施。
- e) 必要な予防接種並びに検診の実施。
- f) 医師の指示による疾病者の処置及び看護。
- g) 施設の内外を常に清潔に保つ
- h) 入浴は、原則として月、水、金の週3回実施し、最低週2回入浴することを徹底。（必要に応じシャワー浴・清拭の実施）
- i) クリーンルームにより感染症予防対策の徹底。
- j) AED（自動体外式除細動器）の常備により、入園者の安全管理の徹底。

④ 介護予防事業の実施

- ・入園者の介護予防のため、様々な介護予防事業を実施した。

[介護予防事業実施状況]

事業名	26年度実績	25年度実績
体操し隊（はつらつ健康体操）	684名	611名
嚥下（えんげ）体操	14,813名	15,415名
お出かけし隊	45名	79名
お料理し隊	43名	46名

⑤ 余暇活動の実施

[各種クラブ活動実施状況]

クラブ名	26年度実績	25年度実績
書道	115名	102名
茶道	236名	247名
詩吟	82名	71名
カラオケ	237名	265名
手芸	156名	156名

[教養娯楽行事及び季節に合わせたレクリエーション行事实施状況]

実施月	行事名	参加人数
1月	書初め会	5名
	カルタ会	23名
	初釜	27名
	新年会	49名

2月	節分・豆まき会	49名
	雪像見学会	8名
	2・3月合同誕生会	33名
	冬の室内喫茶	23名
	きらく会合唱練習	106名
	知っ得講話	31名
	雛人形の飾りつけ	12名
	さより保育園交流会	10名
3月	ひなまつり会	26名
	きらく会演芸交流会	24名
	きらく会合唱練習	47名
	合同避難訓練	40名
	知っ得講話	24名
	第3回入園者懇談会	32名
	さより保育園交流会	10名

⑥ 住環境の整備

- ・入園者の重度化により、居室に手すりを設置するなど個別対応を実施した。

⑦ その他

- 入園者の日用品等の管理。
- 居室等各設備の管理。

⑧ 入園者に関するその他の事項

- 入園に関する事 … 平成26年度入園者数 5名
- 退所に関する事 … 平成26年度退園者数 5名
- 園便りの発行（毎月1回）
- 地域との交流連携の促進

入園者が地域でいきいきと安心した生活を営める環境を形成するため、地元町内会や学生ボランティアの協力の中、身近な施設としての理解を深めた。

(2) 介護保険法による特定入居者生活介護及び介護予防特定施設入居者生活介護事業

〔内 容〕 長生園の入所者が、心身の状態の変化等により、介護保険サービスを受ける必要が生じた場合に、自立した日常生活を送るため、施設相談員が個別の介護計画等を作成したうえ、必要なサービスを提供。

利用状況	26年度実績	25年度実績
延べ実施者数	3,587名	2,705名
実人員（月毎、累計）	130名	98名
実施日数	343日	343日

(3) 札幌市高齢者生活支援型ショートステイ事業

〔内 容〕 札幌市からの受託事業として、介護認定により非該当と認定されている65歳以上の方で、一定の条件を満たし、諸事情のある方（DV等）を札幌市長生園において一時的に宿泊させることにより、本人及び家族の福祉向上を図った。

2 老人福祉センター管理運営事業

〔1〕老人福祉センター管理運営事業（8か所）（札幌市指定管理者施設）

〔実施場所〕中央、東、白石、厚別、豊平、清田、南、西の各老人福祉センター

（1）各施設別利用状況

施設名		26年度実績	25年度実績
中央	延べ利用人数	61,085名	60,950名
	登録人数	486名	462名
東	延べ利用人数	81,154名	77,421名
	登録人数	344名	327名
白石	延べ利用人数	73,340名	72,205名
	登録人数	246名	297名
厚別	延べ利用人数	59,156名	57,180名
	登録人数	261名	252名
豊平	延べ利用人数	42,878名	33,103名
	登録人数	192名	161名
清田	延べ利用人数	78,492名	77,639名
	登録人数	213名	226名
南	延べ利用人数	50,503名	50,198名
	登録人数	235名	221名
西	延べ利用人数	65,575名	65,914名
	登録人数	317名	295名
計	延べ利用人数	512,183名	494,610名
	登録人数	2,294名	2,241名

（2）事業内容（全体）

① 各種相談事業

a) 生活相談

心配ごと、暮らし等の生活上の相談(随時)、結婚を希望する高齢者の相談(北海道マッジカウンセリングセンターから専門相談員の派遣により月1回実施)

利用状況	26年度実績	25年度実績
延べ相談件数	2,203件	2,154件

b) 健康相談

健康管理についての相談、看護師による相談(随時)、医師等による相談

利用状況	26年度実績	25年度実績
延べ相談件数	898件	796件

② 健康増進事業

a) 健康管理

血圧測定等による、運動、食事及び入浴などの助言指導(随時)

利用状況	26年度実績	25年度実績
延べ利用人数	73,348名	75,587名

b) 機能回復訓練

体力の維持、向上、増進及び後退機能の回復のための訓練機器を設置し、正しい使い方の指導や助言(随時)

利用状況	26年度実績	25年度実績
延べ利用人数	61,447名	60,183名

③ 入浴

利用状況	26年度実績	25年度実績
延べ利用人数	58,624名	59,361名

④ 健康生活応援事業

心身とも健康な生活を営むために必要な知識・情報の提供や、参加・体験型による健康運動等の実施などの介護予防に資する適切な援助、指導。

利用状況	26年度実績	25年度実績
延べ利用人数	35,218名	29,752名

⑤ 教養講座の開講

各施設別参加人数	26年度実績	25年度実績
中央	21,475名	20,253名
東	24,907名	23,212名
白石	15,068名	15,559名
厚別	13,944名	14,193名
豊平	12,999名	10,206名
清田	16,755名	16,587名
南	10,632名	10,199名
西	14,619名	14,619名
延べ参加人数	130,399名	124,828名

⑥ レクリエーションの実施

卓球、囲碁、将棋、オセロ、トランプ、読書等

利用状況	26年度実績	25年度実績
延べ利用人数	193,823名	175,243名

⑦ 各種行事の開催

高齢者が地域でいきいきと安心した生活を営める環境を形成するために、地域との協働による様々な行事を開催した。

利用状況	26年度実績	25年度実績
延べ参加人数	35,305名	32,339名

⑧ 高齢者活動支援及び地域開放事業

センター空き室を積極的に開放し高齢者のサークル活動、地域住民による福祉活動の促進を図った。

各施設別利用回数	26年度実績	25年度実績
中央	15,880名	15,346名
東	22,602名	22,349名
白石	18,032名	19,383名
厚別	19,677名	18,841名
豊平	10,774名	8,396名
清田	16,841名	16,336名
南	12,225名	13,086名
西	17,481名	15,793名

延べ使用回数	7,208回	6,766回
延べ利用人数	133,512名	129,530名

⑨ 地域との交流の推進

高齢者が地域でいきいきと安心した生活を営める環境を形成することを旨として、地域との協働によるさまざまな活動を推進し、高齢者を核とした地域のまちづくりの拠点としての機能を形成していくため、地域との交流を推進した。

また、札幌市民福祉活動計画の先行的取組みとして、各区社協との連携によりボランティア教室（豊平老人福祉センター）、介護サポーター養成研修（清田老人福祉センター）を開催した。

⑩ AED（自動体外式除細動器）の設置

利用者の安全管理のため、各老人福祉センターにAED（自動体外式除細動器）を設置しており、適時使用方法の確認を行った。

⑪ 施設整備

札幌市建築部による市有建築物の延命化に伴う保全推進事業の一環として、厚別・清田老人福祉センターのエレベーター修繕工事（平成27年3月竣工）、厚別老人福祉センター多目的室及び浴室照明設備修繕工事及び男女浴室建具等修繕工事（平成27年3月竣工）、南老人福祉センター男女浴室照明取替工事（平成27年3月竣工）、西老人福祉センター多目的室エアコン設置工事（平成27年3月竣工）を行った。

⑫ ウォームシェア事業の取組

札幌市からの協力依頼により、冬季の節電対策の一環としての「ウォームシェア」の取組みを推進するとともに、健康づくりにも役立てることを目的として、平成26年12月から平成27年3月にかけて健康づくり体操を4回実施した。

また、各老人福祉センターにて企画したウォームシェア事業として、様々なイベントも併せて同期間に開催した。

3 介護保険法による老人デイサービスセンター運営事業

〔1〕 介護保険法による老人デイサービスセンター運営事業（7か所）

[実施場所] 中央、東、厚別、豊平、南、西の各老人福祉センター、屯田西老人デイサービスセンター（札幌市指定管理者施設）

要介護状態又は要支援状態にある高齢者に対し、通所により各種のサービスを提供することによって、当該者の自立的生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上等を図るとともに、その家族の身体的、精神的な負担の軽減を図った。

また、平成26年4月より新たに札幌市屯田西老人デイサービスセンターの指定管理者に指名され、当該施設の運営を行った。

○利用状況（全体：延べ利用人数）

[施設別利用状況]

施設名		26年度実績	25年度実績
中央	延べ利用人数	4,076名	4,861名
	実利用人数	591名	690名
東	延べ利用人数	6,858名	6,291名
	実利用人数	925名	888名
厚別	延べ利用人数	5,838名	6,386名
	実利用人数	701名	792名

豊平	延べ利用人数	6,113名	5,196名
	実利用人数	872名	785名
南	延べ利用人数	4,906名	4,507名
	実利用人数	665名	653名
西	延べ利用人数	5,360名	5,326名
	実利用人数	728名	657名
屯田西	延べ利用人数	1,767名	—
	実利用人数	306名	—
計	延べ利用人数	34,918名	32,567名
	実利用人数	4,788名	4,465名
1日平均利用人数		16.2名	17.6名
延べ実施日数		2,154日	1,853日

4 休養ホーム札幌市保養センター駒岡管理運営事業

〔1〕休養ホーム札幌市保養センター駒岡管理運営事業（札幌市指定管理者施設）

（1）施設概要

宿泊室17室、大広間、中広間、浴室、レストラン、売店、温室、芝生広場、パークゴルフ場（屋内外）、パットゴルフ場（屋外）

（2）利用状況

各施設別利用回数	26年度実績	25年度実績
宿泊者数	10,013名	9,907名
休憩者数	87,239名	89,572名
屋内外施設利用者数	8,352名	17,382名
朝市入場者数	4,507名	4,741名
来館者合計	110,111名	121,602名

※屋内パークゴルフ場、熱帯植物館は平成25年12月1日より施設老朽化のため休止。

※屋外パークゴルフ場、パットゴルフ場は台風による大雨の影響によりコースの一部が陥没し復旧の目途が立たないため、平成26年9月11日から休止。

（3）定員

宿泊 80人

（4）内容

高齢者等に対して、低廉で健全な保健休養及び生きがいを高めるための保養の場を提供することにより、高齢者等の心身の健康と福祉の増進を図り、健康で明るい生活を営むためのサービスを提供している。

- ① 宿泊に関する業務
- ② 休憩に関する業務
- ③ 屋外パークゴルフ及びパットゴルフ場の利用に関する業務
- ④ レストランに関する業務
- ⑤ 相談事業（生活相談・健康相談）
- ⑥ 健康増進事業

- ・健康管理、機能回復訓練
- ・サークル活動の援助
- ・地域との交流の促進
- ・レクリエーションの実施
- ・各種行事の開催
- ・教養講座の実施

[実施状況]

(単位：名)

講座名	26年度実績	25年度実績
陶芸	2,503名	2,368名
書道	339名	469名
かなと実用書道	239名	286名
ペン習字	204名	205名
英会話	992名	929名
カラオケ	713名	797名
絵手紙	463名	547名
ビリヤード	753名	474名
ヨガ	748名	672名
合唱	305名	262名
水彩画	235名	237名
フラダンス	753名	150名
囲碁	124名	142名

⑦ ホームページの充実

よりわかりやすくタイムリーな情報を提供し、ホームページから予約受付を可能にするなど、利用者の利便性向上を図るとともに、季節メニューなど随時更新をしている。

⑧ さっぽろエコメンバーに登録し環境配慮の取組を維持するとともに、取組内容の継続的改善を行った。

⑨ AED(自動体外式除細動器)の設置

利用者の安全管理のため、AED(自動体外式除細動器)を設置。

⑩ 各種キャンペーンへの参加

地域の活性化及びネットワークの形成、集客拡大及びPR活動の一環として、シーニックバイウェイ、ガーデンアイランド北海道、さっぽろ周遊キャンペーンへ参加。

⑪ 各種行事の開催

実施月	行事名	参加人数
1月	新春書初め展	2,587名
	ウォームシェア サックス・ギターコンサート	72名
2月	こまおか冬まつり	639名
	修了作品展	8,081名
3月	ビリヤード大会	17名
	ウォームシェア 健康講話	45名

⑫ 利用者への利便提供

売店での土産品等の販売、自動販売機によるアルコール飲料清涼飲料・たばこの販売等の利用提供。

5 札幌市二次予防事業の実施

[1] 札幌市二次予防事業の実施

(1) 札幌市高齢者機能向上事業(8か所)

[実施場所] 中央、東、白石、厚別、豊平、清田、南、西の各老人福祉センター

○ 実施状況(全体)

老人福祉センターにおいて、運動機能の低下又はその恐れがある二次予防事業対象者に、理学療法士等と看護職員が協働して運動機能の向

上に係る個別の計画を作成した上、当該計画に基づく運動等を実施し、要介護または要支援になることの予防を図った。

施設別利用回数	26年度実績	25年度実績
中央	661名	723名
東	650名	660名
白石	441名	482名
厚別	623名	616名
豊平	625名	519名
清田	526名	485名
南	709名	426名
西	571名	664名
延べ利用人数	4,806名	4,575名

(2) 札幌市高齢者口腔機能向上・栄養改善事業（8か所）

[実施場所]中央、東、白石、厚別、豊平、清田、南、西の各老人福祉センター
老人福祉センターにおいて、口腔機能の低下、低栄養状態にある又はその恐れのある二次予防事業対象者に、歯科衛生士等、管理栄養士と看護職員が協働して口腔機能の向上及び栄養状態を改善するための個別の計画を作成した上、当該計画に基づき摂食・嚥下機能訓練、口腔ケアの自立支援等の相談・指導等を実施し、要介護または要支援になることの予防を図った。

[施設別利用回数]

センター名	平成26年度	センター名	平成26年度
中央	216名	豊平	70名
東	130名	清田	136名
白石	111名	南	119名
厚別	145名	西	151名
		延べ利用人数	1,078名

D 組織体制の強化

1 経営強化の取組み

[1] 社協組織の運営

(1) 事務局体制等の充実強化

① 事務の効率化の促進

○ 経営会議の開催

第1回

[開催日] 平成26年5月19日

[場所] 社会福祉総合センター

[内容] 平成26年度各本部の運営方針について
本部機能の移転に関する連絡調整会議について

第2回

[開催日] 平成26年8月20日

[場所] 社会福祉総合センター

[内容] 経営計画の中間報告について
さっぽろ市民福祉活動計画の一部改訂について
保養センター駒岡プロジェクト会議及び屯田西デイサービス

センターの進捗状況について
介護保険事業における人材確保について
本部機能移転に関する進捗状況について
社会福祉法人への課税見直しに対する対応（状況報告）について

第3回

〔開催日〕 平成26年10月27日
〔場 所〕 社会福祉総合センター
〔内 容〕 理事会・評議員会の議案について
介護保険関連事業の安定運営に係る方策検討プロジェクトの進捗状況について

第4回

〔開催日〕 平成27年2月16日
〔場 所〕 社会福祉総合センター
〔内 容〕 理事会・評議員会の議案について
中期経営計画[第1期]（案）の策定について
札幌市社協活動の活性化のために～区社協を基盤とした事業展開～（提案書）について

第5回

〔開催日〕 平成27年3月23日
〔場 所〕 社会福祉総合センター
〔内 容〕 理事会・評議員会の議案について
機構及び名称の変更について

② 諸規程及び内規類の整備による管理機能強化

2 職員育成の強化

〔1〕 職員育成の強化

（1）役員及び職員研修の実施（内部研修、外部研修、資格取得支援）

① 内部研修

ア 新任職員研修（採用時組織研修と採用時専門研修）

〔開催日〕 ア 組織研修：職員研修計画に基づき原則毎月1回開催

イ 専門研修：随時開催

〔内 容〕 社協の事業概要の説明

社協職員として身に付けなければならない基本的なスキル他

〔人 数〕 合計149名

イ 新任職員研修（フォローアップ研修・第5種嘱託・ヘルパー）

〔開催日〕 平成26年5月29日、8月28日、11月27日、
平成27年2月19日（4回）

〔内 容〕 採用後、3カ月間を振り返って業務内容の再確認を行う

〔人 数〕 合計39名

ウ 新任職員研修（フォローアップ研修・第2種専門・ヘルパー）

〔開催日〕 平成26年7月9日、平成27年1月30日（2回）

〔内 容〕 採用後、3カ月間を振り返って業務内容の再確認を行う

〔人 数〕 合計11名

エ 新任職員研修（フォローアップ研修・ケアマネジャー）

〔開催日〕 平成26年7月10日～11日、平成27年1月28日～29日（2回）

〔内 容〕 採用後、3カ月間を振り返って業務内容の再確認を行う

〔人 数〕 合計15名

オ 新任職員研修（フォローアップ研修・調査センター職員）

〔開催日〕 平成26年9月2日、平成27年2月3日（2回）

〔内 容〕 採用後、3カ月間を振り返って業務内容の再確認を行う

〔人 数〕 合計24名

カ 新任職員研修（フォローアップ研修・包括職員）

〔開催日〕 平成26年8月8日、平成27年2月13日（2回）

〔内 容〕 採用後、3カ月間を振り返って業務内容の再確認を行う

〔人 数〕 合計29名

キ ケアマネジャー職（包括・居宅）専門研修

〔開催日〕 平成26年6月23日、7月2日、7月24日、7月29日（4回）

〔内 容〕 アセスメントの視点の強化

〔人 数〕 207名

ク ケアマネジャー職（要介護認定調査）専門研修

〔開催日〕 平成26年11月4日、11月6日（2回）

〔内 容〕 認定調査員として必要な知識

〔人 数〕 128名

ケ ケアマネジャー職（居宅）専門研修1

〔開催日〕 平成26年10月29日、11月17日、12月11日、1月23日（4回）

〔内 容〕 採用後、3年未満の職員を対象としたスキルアップ研修

〔人 数〕 29名

コ ケアマネジャー職（居宅）専門研修2

〔開催日〕 平成26年11月11日、17日、18日（3回）

〔内 容〕 対人援助技術（傾聴）

〔人 数〕 29名

サ ヘルパー職専門研修

〔開催日〕 平成26年11月11日、12日、18日、19日（4回）

〔内 容〕 介護事故防止の取り組み（介護実技研修）

〔人 数〕 115名

シ ヘルパー職研修（同行援護従業者養成研修）

〔開催日〕 平成26年7月14日～9月4日（3日間 計7回）

〔内 容〕 同行援護従業者養成研修（一般課程・応用課程）

〔人 数〕 130名

ス 階層別職員研修

〔開催日〕 平成26年6月18日

〔内 容〕 介護保険制度改正に係る研修

〔人 数〕 73名

セ 階層別職員研修

〔開催日〕 平成27年3月9日

〔内 容〕 コンプライアンス研修（個人情報保護について）

〔人 数〕 17名

ソ 接遇研修

〔開催日〕 平成26年10月17日、20日、11月10日、11日（4回）

〔内 容〕 社会人としての基本的マナー

〔人 数〕 92名

② 外部（派遣）研修

〔研修数〕 71回

〔人 数〕 443名

〔主催者〕 全国社会福祉協議会、長寿社会開発センター、札幌市、北海道等

(2) 事務室移転による事務局機能の集約

a) 本部機能移転に関する連絡調整会議

第1回 平成26年6月25日

第2回 平成26年8月28日

b) 総合センターレイアウト変更工事

平成26年10月21日～平成27年1月30日

c) リンケージプラザからの本部機能移転

平成27年2月20日～22日

3 役員会等組織の運営

〔1〕 理事会・評議員会及び監事会の開催

(1) 理事会・評議員会及び監事会の開催

① 理事会・評議員会

【第1回理事会・評議員会】

〔開催日〕 平成26年5月27日

〔場 所〕 社会福祉総合センター

〔内 容〕 平成25年度事業報告、決算報告、監事監査報告、諸規程の一部改正、理事・評議員の選任 等

【第2回理事会・評議員会】

〔開催日〕 平成26年11月7日

〔場 所〕 社会福祉総合センター

〔内 容〕 さっぽろ市民福祉活動計画の一部改訂、副会長の選任、会長職務代理順位、評議員の選任 等

【第3回理事会・評議員会】

〔開催日〕 平成27年2月23日

〔場 所〕 社会福祉総合センター

〔内 容〕 中期経営計画[第1期]の策定、移送サービス事業の廃止 等

【第4回理事会・評議員会】

〔開催日〕 平成27年3月30日

〔場 所〕 社会福祉総合センター

〔内 容〕 平成27年度事業計画・資金収支予算、諸規程の一部改正、理事・監事・評議員の選任 等

② 監事会

- 【第1回】 平成26年5月19日
〔内 容〕 平成25年度決算監査
- 【第2回】 平成26年9月26日
〔内 容〕 第1四半期監査
- 【第3回】 平成26年11月28日
〔内 容〕 第2四半期監査
- 【第4回】 平成27年2月25日
〔内 容〕 第3四半期監査

(2) 部会の運営（地域福祉部会、施設福祉部会）

○ 施設福祉部会会議

- 〔部会三役会〕 平成26年4月16日
- 〔場 所〕 社会福祉総合センター
- 〔内 容〕 平成26年度事業計画（案）について
- 〔部 会 会 議〕 平成26年4月24日
- 〔場 所〕 社会福祉総合センター
- 〔内 容〕 平成26年度の部会構成について
平成25年度事業報告について
平成26年度事業計画（案）について

(3) 各委員会の開催

(4) 市社協・区社協連絡会議の開催

① 市・区社協会長会議

- 【第1回】 平成26年8月26日
〔場 所〕 札幌すみれホテル
〔内 容〕 平成27年度介護保険制度の改正について、さっぽろ市民福祉活動計画の一部改訂について 等
- 【第2回】 平成27年2月12日
〔場 所〕 札幌すみれホテル
〔内 容〕 移送サービス事業の廃止について、「札幌市社協活動の活性化のために～区社協を基盤としての事業展開～」(提案書)について等

② 市・区社協各種会議

- ア 経営会議（年5回開催）【再掲：D1〔1〕（1）】
- イ 法人運営連絡調整会議（年4回開催）
- ウ 事務局長会議（毎月1回開催）
- エ 係長会議（毎月1回開催）
- オ 連絡調整会議（原則毎週1回開催）、担当者会議（随時開催）
- カ 地域包括ケア・介護事業本部幹部会議（毎月1回開催）
- キ 合同所長会議（毎月1回開催）
- ク 包括センター長、調査センター所長、事業所長（合同所長会議後開催）

〔2〕 会員の加入促進（正会員の整備と賛助会員の増員）

〔3〕各種基金等の管理・運営

社会福祉基金、矢館福祉基金、八重樫福祉基金、種田福祉基金、仁和福祉基金、根っ子の会福祉基金、百年基金、愛情銀行

〔4〕札幌市民生委員児童委員協議会との連携及び事業に対する協力

〔会員数〕 2, 850名

〔主な事業〕

- ① 理事会及び専門部会の開催
- ② 札幌市民生委員児童委員大会及び研修会の開催・参加など
- ③ 広報活動（札幌民児協VOL12の発行）

〔5〕札幌市福祉友の会との連携及び協力

〔会員数〕 146名

〔主な事業〕

- ① 社会福祉向上のための協力参加
- ② 研修会の開催
- ③ 会員相互の協調親睦

〔6〕札幌市老人福祉施設協議会との連携及び協力

〔会員数〕 90施設

〔主な事業〕

- ① 役員会、施設長会議の開催
- ② 各種研修会の開催・参加など
- ③ 災害支援及び災害対応

〔7〕札幌市身体障がい者福祉事業連携協議会との連携及び協力

〔会員数〕 13施設

〔主な事業〕

- ① 役員会の開催
- ② 各種研修会の開催
- ③ 事業所間での交流実習
- ④ 災害支援及び災害対応

〔8〕札幌市共同募委員会との連携及び募金運動に対する協力

		26年度実績	25年度実績	比較増△減
募金実績		106,496,409円	107,502,307円	△ 1,005,898円
内訳	一般募金	103,760,098円	104,508,717円	△ 748,619円
	歳末募金	2,736,311円	2,993,590円	△ 257,279円